

平成 24 年度

事業報告書

社会福祉法人^{恩賜財団}東京都同胞援護会

平成 24 年度事業報告

目 次

一	平成 24 年度事業報告	5
二	事業経営	11
1	保育支援系福祉サービスの経営	11
2	高齢者支援系福祉サービスの経営	27
3	障害者支援系福祉サービスの経営	55
4	児童・女性支援系福祉サービスの経営	72
5	医療事業の経営	86
6	収益事業の経営	88
三	職員福利厚生制度	89
四	理事会及び評議員会	90
五	施設長会議及び各種委員会	96
六	事務局主要業務	120

一 平成 24 年度事業報告

平成 24 年度の日本経済は、欧州債務問題の深刻化などが影響し景気の低迷がつづきましたが、12 月に政権交代した後、株価の上昇、円高修正など景気回復への期待が高まっています。

国においては、社会保障と税の一体改革関連法が成立し、消費税及び子ども・子育て関連の大枠が示されましたが、年金、医療・介護などは今後の議論に依ることとなりました。

当法人においては、引き続き利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保及び育成に努めました。

まず、施設運営については、利用者への個別計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、老朽化した設備の更新や地震に関する対応など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進いたしました。

老朽化した施設の改築については、サンライズ武蔵野、むさしの保育園、昭和郷第二保育園がそれぞれ竣工し、新規事業の原町高齢者複合施設も竣工し、事業開始いたしました。

また、サンライズ山中は関係機関と協議の上廃止いたしました。

更に、大山保育園、立川福祉作業所は改築に向けた取組を始めました。

震災対応では、大地震発生直後 30 分行動計画を策定するなど、備えを強化いたしました。

次に、人材の確保・育成についてですが、今年度も新規学卒者の計画的な採用を進めるとともに、新規職員から施設長まで階層別に法人研修を実施したほか、各支援系グループにおける分野別の研修を行い、職員の技術向上に繋げました。

最後に、昭島病院の運営についてですが、地域医療連携の拡充や救急医療の積極的受入につとめ、地域の中核病院としての役割を担って参りました。また、今年度の収支状況についても、引き続き黒字決算となりました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心から感謝いたします。

平成24年度 施設利用状況報告

平成25年3月31日現在

グループ名	種 別	施設名	利 用 状 況								備 考
			定員	(3月利用者実績数)	1日利用者平均	年間利用者数	年間実施延日数	(24年度年間利用率)	(23年度年間利用率)	年間利用率前年対比	
保 育 支 援 系	保 育 所	むさしの保育園	154	163	163.3	47,835	293	106.0%	104.0%	2.0%	
		本園	125	134	134.7	39,461	293	107.7%	105.0%	2.7%	
		方南分園	29	29	28.6	8,374	293	98.6%	99.7%	-1.1%	
		昭和郷保育園	100	118	117.2	34,335	293	117.2%	120.2%	-3.0%	
		大山保育園	122	125	127.5	37,355	293	104.5%	102.0%	2.5%	
		昭和郷第二保育園	190	190	188.0	55,080	293	106.4%	108.7%	-2.3%	2月1日 定員変更
		みなと保育園	70	72	72.4	21,223	293	103.5%	102.9%	0.6%	
		同援みどり保育園	125	132	129.9	38,057	293	103.9%	103.2%	0.7%	
		つつじが丘保育園	110	135	132.0	38,686	293	120.0%	116.5%	3.5%	
		同援さくら保育園	108	118	118.8	34,797	293	110.0%	109.0%	1.0%	
	保育施設計		979	1,053	1,049	307,368	—	108.6%	108.1%	0.5%	
高 齢 者 支 援 系	養護老人ホーム	万世敬老園	200	201	200.5	73,172	365	100.2%	100.3%	-0.1%	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	50	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	0.0%	
		ライトホーム	50	32	33.4	12,199	365	66.8%	78.3%	-11.5%	
	救護施設	昭島荘	100	100	100.0	36,501	365	100.0%	100.5%	-0.5%	
	小 計		400	383	383.9	140,122	—	96.0%	97.6%	-1.6%	
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業舎)	フジホーム	104	98.2	98.4	35,920	365	94.6%	95.6%	-1.0%	
		ニューフジホーム	104	100.3	99.8	36,440	365	96.0%	95.8%	0.2%	
		原町ホーム	52	50.6	50.9	18,574	365	97.9%	99.0%	-1.1%	
		ゆたか苑	54	53.2	53.4	19,498	365	98.9%	98.4%	0.5%	
		ひかり苑	54	54.4	53.3	19,460	365	98.7%	94.8%	3.9%	
	小 計(介護施設)		368	356.7	355.9	129,892	—	96.7%	96.4%	0.3%	
	認知症対応型老人 共同生活援助事業 (グループホーム)	かえで	9	9	8.7	3,158	365	96.1%	93.7%	2.4%	
		原町グループホーム	18	0	0.0	0	5	0.0%	—	—	3月25日開設
	老人 デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	25	16.6	17.4	5,369	308	69.7%	76.1%	-6.4%	
		フジ・デイホーム	10	7.4	7.9	2,434	307	79.3%	83.4%	-4.1%	
		原町高齢者在宅サービスセンター	12	7.4	8.7	2,679	308	72.5%	84.6%	-12.1%	
		原町デイサービスセンター	12	0	0.0	0	5	0.0%	—	—	3月25日開設
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	8.3	7.5	2,309	307	62.7%	68.4%	-5.7%	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	1,123	36.6	11,248件	307	—	—	—	
		昭島市中部地域包括支援センター	—	729	31.5	9,232件	293	—	—	—	
	居宅介護支援事業所	フジホーム	—	—	4.0	974	245	—	—	—	
		原町ホーム	—	—	1.9	550	289	—	—	—	
		ゆたか苑	—	—	4.1	996	245	—	—	—	
		ひかり苑	—	—	1.8	432	245	—	—	—	
	小規模多機能型居宅介護事業	原町小規模多機能型居宅介護センター	25	0	0.0	0	7	0.0%	—	—	3月25日開設
	小 計(介護在宅)		123	49	62	18,901	—	—	—	—	
	公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	
		訪問介護養成研修事業	20	—	—	11	—	—	—	—	
	高齢者施設計		891	788	802	288,915	—	—	—	—	

グループ名	種 別	施設名		利 用 状 況								備 考	
				定 員	(3 月 利 用 実 績 数)	利 用 者 数 平 均	年 間 利 用 者 数	年 間 実 施 延 日 数	(2 4 年 度) 年 間 利 用 率	(2 3 年 度) 年 間 利 用 率	年 間 利 用 率 前 年 対 比		
障	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	100	88.1	89.4	32,641	365	93.2%	93.9%	-0.7%	
	障害福祉サービス(通所)	さやま園	生活介護	(81)		77	75.2	20,241	269	92.9%	86.9%	6.0%	
			就労移行支援	(15)		10	15.0	4,041	269	100.1%	79.9%	20.2%	
			短期入所	4		—	0.9	328	365	22.5%	37.9%	-15.4%	
			小茂根福祉園	生活介護	40	70	31.3	32.1	7,860	245	80.2%	82.3%	-2.1%
	就労継続支援B	30		27	26.2		6,415	245	87.3%	88.3%	-1.0%		
	立川福祉作業所	生活介護	30	75	21.4	22.7	6,118	269	75.8%	79.3%	-3.5%		
		就労継続支援B	35		30.7	32.7	8,799	269	93.5%	92.2%	1.3%		
		就労移行支援	10		8.5	9.6	2,575	269	95.7%	114.1%	-18.4%		
	東村山生活実習所	生活介護	30	40	27.4	27.3	6,678	245	90.9%	94.1%	-3.2%		
		就労継続支援B	10		11.5	11.3	2,778	245	113.4%	102.0%	11.4%		
		短期入所	2		—	0.7	269	365	36.8%	27.9%	8.9%		
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ			—	273	6.8	2,474	365	—	—	—	
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター			—	792	27.2	9,933	365	—	—	—	
	共同生活介護・ 共同生活援助事業 (知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		グリーンハイツ		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		フレンズ・モエ		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		パル		6	6	6.0	2,180	365	99.5%	100.0%	-0.5%		
		それいゆ小川		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		ファーム竹丘1		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		ファーム竹丘2		7	7	7.0	2,555	365	100.0%	92.5%	7.5%		
		レジオンス巣鴨		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		はなみずき		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		ユーカリ		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	87.6%	12.4%		
		夢オハナ		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%		
		結オハナ		6	6	6.0	1,644	274	100.0%	100.0%	0.0%	7月1日開設	
		障害者施設計				352	1,463	442	134,319	—	—	—	—
	児 童 ・ 女 性 支 援 系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		10	10	9.8	3,593	365	98.4%	62.4%	36.0%	
サンライズ青山			20	19	19.2	6,990	365	95.8%	94.0%	1.8%			
緊急一時保護事業			1	—	0.6	231	365	63.3%	60.4%	2.9%			
サンライズ万世			20	20	18.9	6,915	365	94.7%	95.6%	-0.9%			
緊急一時保護事業			2	—	0.2	71	365	9.7%	21.0%	-11.3%			
児童養護施設 (地域小規模) (地域小規模)		双葉園		50	50	49.4	18,048	365	98.9%	95.2%	3.7%		
		双葉園	(38)	(38)	37.4	13,668	365	98.5%	95.2%	3.3%			
		高嶋の家	(6)	(6)	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%			
		くすのき	(6)	(6)	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%			
婦人保護施設		いこいの家		40	29	29.9	10,908	365	74.7%	68.4%	6.3%		
児童厚生施設		昭島市児童センターぱれっと		—	6,588	199.2	65,942	331	—	—	—		
放課後児童健全育成事業		つつじが丘北児童クラブ		50	21	25.5	7,469	293	—	—	—		
児童・女性施設計				1	6,737	352.8	120,167	—	90.9%	84.3%	6.6%		
施設合計				2,415	10,041	2645.734	850,769	—	98.9%	98.5%	0.4%		
医 療	病 院	昭島病院		199	15,964	651.0	—	365	—	—	—		
		入院	199	4,678	154.0	—	365	77.1%	81.0%	-3.9%			
		外来	—	11,286	497.0	—	281	—	—	—			
		訪問看護ステーション	—	—	13.0	3,563.0	262	—	—	—			
収 益	印 刷	事業局		—	—	—	—	—	—	—			
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業		—	—	—	—	—	—	—			
合 計 (福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業22)				2,614	26,005	3,297	854,332	—	—	—	—		

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。

注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。

平成24年度 職員配置状況報告(職員実人員数)

グループ 名	種 別	施設名	平成25年3月31日					24年度	平成24年3月31日					23年度	備 考
			正 規 職 員	臨時職員			職 員 数 合 計	(年 常 勤 平 均 換 算)	正 規 職 員	臨時職員			職 員 数 合 計	(年 常 勤 平 均 換 算)	
				契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			
保 育 支 援 系	保 育 所	むさしの保育園	31	5	2	30	68	51.0	30	8	1	19	58	51.3	
		昭和郷保育園	22	3	2	18	45	33.3	20	3	0	19	42	32.2	調理委託
		大山保育園	24	3	0	12	39	35.0	20	5	0	12	37	34.5	
		昭和郷第二保育園	30	1	3	22	56	45.9	28	5	3	16	52	45.7	調理委託
		みなと保育園	15	3	1	6	25	22.9	14	3	2	5	24	23.4	調理委託
		同援みどり保育園	28	1	0	19	48	40.9	24	2	3	21	50	39.1	
		つつじが丘保育園	21	5	2	19	47	36.8	22	5	1	20	48	36.6	調理委託
		同援さくら保育園	24	1	0	23	48	38.1	22	1	1	25	49	37.2	調理委託
	保育施設計		195	22	10	149	376	303.9	180	32	11	137	360	300.0	
高 齢 者 支 援 系	養護老人ホーム	万世敬老園	20	4	18	8	50	49.9	20	6	17	9	52	49.4	調理委託
	軽費老人ホーム	サンホーム	8	4	2	6	20	16.2	8	4	3	6	21	16.1	
		ライトホーム	1	2	0	0	3	3.0	1	1	1	0	3	3.2	
	救護施設	昭島荘	37	2	3	8	50	44.5	34	2	1	9	46	43.0	調理委託
	特別養護老人ホーム	フジホーム	25	11	12	16	64	59.1	29	12	11	17	69	59.9	調理委託
		ニューフジホーム	37	6	0	29	72	65.3	36	8	0	31	75	64.5	調理委託
		原町ホーム	16	5	10	7	38	37.8	18	3	12	9	42	36.9	調理委託
		ゆたか苑	21	4	2	12	39	34.2	20	4	3	10	37	32.3	調理委託
		ひかり苑	20	14	0	10	44	41.5	18	11	8	10	47	41.3	
	認知症対応型老人 共同生活援助事業	かえで	2	4	0	4	10	8.7	2	5	0	3	10	8.7	
		原町グループホーム	4	1	2	3	10	0.7	—	—	—	—	—	—	3月25日開設
	老人デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	3	1	6	3	13	11.6	3	1	5	4	13	11.9	
		フジ・デイホーム	1	0	5	1	7	6.7	1	0	4	1	6	6.4	
		原町高齢者 在宅サービスセンター	0	3	4	6	13	11.4	1	3	2	7	13	11.6	
		原町デイサービスセンター	2	0	0	3	5	0.4	—	—	—	—	—	—	3月25日開設
		東大和市ふれあい デイセンターひかり苑	1	3	0	3	7	6.1	2	2	1	1	6	6.2	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者 総合相談センター	8	0	0	1	9	8.9	8	0	0	1	9	9.0	
		昭島市中部地域包括 支援センターあいぽっく	3	0	0	2	5	4.4	3	0	0	2	5	3.8	
	居宅介護支援事業所	フジホーム	1	1	0	1	3	2.7	1	1	0	1	3	2.7	
原町ホーム		2	0	0	0	2	2.0	2	1	0	0	3	3.1		
ゆたか苑		2	0	0	0	2	2.0	2	0	0	0	2	2.0		
ひかり苑		1	0	0	0	1	1.0	1	0	0	0	1	1.0		
小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能 居宅介護センター	4	0	3	4	11	0.8	—	—	—	—	—	—	3月25日開設	
公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	訪問介護養成研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
高齢者施設計			219	65	67	127	478	418.9	210	64	68	121	463	413.0	

グループ 名	種 別	施設名	平成24年3月31日						24年度	平成24年3月31日						23年度	備 考
			正 規 職 員	臨 時 職 員			職 員 数 合 計	(年 常 勤 平 均 換 算)	正 規 職 員	臨 時 職 員			職 員 数 合 計	(年 常 勤 平 均 換 算)			
				契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B					
障 害 者 支 援 系	障害福祉サービス	さやま園	46	13	1	22	82	69.4	42	12	1	20	75	65.3			
		小茂根福祉園	28	6	0	2	36	36.4	29	4	0	4	37	35.6			
		立川福祉作業所	11	3	0	16	30	21.1	11	2	0	16	29	20.9	調理委託		
		東村山生活実習所	12	5	0	9	26	22.4	11	4	0	10	25	21.9	調理委託		
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	10	2	0	8	20	15.1	9	3	0	8	20	15.0	調理委託		
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	20	0	0	15	35	25.2	19	0	0	18	37	25.4			
	共同生活介護・ 共同生活援助事業 (知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		グリーンハイツ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		フレンズ・モエ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		パル	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		それいゆ小川	—	(2)	—	—	0	—	—	(2)	—	—	0	—			
		ファーム竹丘1	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		ファーム竹丘2	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		レジオンス巣鴨	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		はなみずき	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		ユーカリ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		夢オハナ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—			
		結オハナ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	7月1日開設		
	障害者施設計		127	29	1	72	229	189.6	121	25	1	76	223	184.1			
児 童 ・ 女 性 支 援 系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	7	2	0	2	11	8.9	6	2	0	3	11	8.9			
		サンライズ青山	8	1	1	7	17	10.5	6	2	1	5	14	10.2			
		サンライズ万世	7	3	0	5	15	12.1	7	2	0	5	14	11.2			
	児童養護施設	双葉園	20	7	1	8	36	36.8	23	5	2	7	37	40.1			
		(地域小規模)	高嶋の家	3	0	0	0		3	4	0	0	0		4		
		(地域小規模)	くすのき	2	0	1	0		3	3	0	1	0		4		
	婦人保護施設	いこいの家	9	2	0	8	19	14.7	9	3	0	8	20	14.3			
	児童厚生施設	昭島市児童センター ばれっと	1	1	0	10	12	8.2	—	—	—	—	—	—			
	放課後児童健全育成事業	つつじが丘北児童クラブ	0	0	0	5	5	3.4	—	—	—	—	—	—			
	児童・女性施設計		57	16	3	45	121	94.6	58	14	4	28	104	84.7			
施設合計			598	132	81	393	1,204	1,007.0	569	135	84	362	1,150	981.8			
医 療	病 院	昭島病院	196	0	0	136	332	255.8	192	0	0	126	318	257.4			
		訪問看護ステーション	4			3	7		4	0	0	3	7				
収 益	印 刷	事業局	12	0	0	2	14	14.0	12	0	0	2	14	14.0			
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
合 計			810	132	81	534	1,557	1,276.8	777	135	84	493	1,489	1,253.2			

注1 嘱託医等の業務委託や派遣職員は算入していない。

注2 共同生活介護・共同生活援助事業の職員配置は、委託事業のため職員数および常勤換算には含まない。

注3 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、
非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員。

なお、昭島病院(訪問看護ステーション含)では正規職員の所定時間は1日7時間42分(週40時間)となっており、
非常勤で1日の労働時間が最長でも7時間30分であるため、非常勤職員全員が非常勤Bに該当する。

二 事 業 経 営

1 保育支援系福祉サービスの経営

保育所を経営しました。

【グループ総括】

- 1 待機児解消に向け、保育グループでは弾力入所受け入れを年度当初より積極的に行いました。また、むさしの保育園および昭和郷第二保育園の建て替えが済み、新園舎となり定員を増員しての運営となりました。ともに安全で清潔かつゆとりのスペースも工夫してあり利用者に喜ばれました。
- 2 親の育児不安や育児力低下等により、育児困難家庭や虐待も増加しています。保育グループでは、保育所の果たす役割を十分に発揮しながら、保護者の支援を致しました。また、必要に応じて専門機関との連携・協働をしました。
- 3 地域の子育て中の親の支援については、近隣との関係も希薄化している中、子育て力の向上を目指し、情報や場所の提供に努めました。あわせて子育て相談の内容に応じて専門機関の紹介等も行いました。
- 4 8園とも第三者評価を受審し、保護者の意見を十分受け止め、多様な保育サービスの提供や充実に繋げました。また職員アンケートから、職場環境、業務内容、職員育成等の課題や改善を図ることが出来ました。
- 5 人材育成については、法人内研修、グループ研修、園内研修、園外研修等へ積極的に参加し自己研鑽に努めました。また、新任保育士については採用が困難となるなか、チューター制度により保育士確保と定着と質の向上に努めました。
- 6 防災については、災害対策の強化と見直しを行い、震災対応のBCP作成について検討し、訓練やマニュアルの整備を進め、園児の安心、安全に努めました。
- 7 「子ども子育て関連3法」の成立、公布をふまえ動向に注目し、情報収集を行うとともに、学習会等に積極的に参加しました。

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名	むさしの保育園	定員	154名
利用者 年間稼働率	106.0%		
年間実施延日数	293日	年間利用者数	47,835名
		一日平均利用者数	163.3名

【施設運営状況】

- 1 新園舎改築工事が終了し新しい保育環境の中で、園児・保護者にとってより安全に快適に、生活をスタートさせることができました。
- 2 育児困難家庭・要配慮児への支援として、専門機関との連携を図り話し合いを密にしながら、園児・保護者の現状を確認し、対応に努めました。
- 3 保育制度改革については、行政説明会等に参加し、得た情報を職員間で共有し、さらに今後の動向に目を向けるべく周知しました。
- 4 保育士確保が非常に困難な中、就職相談セミナー等に積極的に参加し確保に努めました。また法人内研修・外部研修への参加、園内研修等取組むべき課題を明確にしながら、さらに現場に活かせるよう努めました。
- 5 研修を通して防災対策について情報を周知し、見直しを図りました。放射能汚染については、区との連携を図りながら食材の定期的な検査を実施しました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりが自発的・意欲的に活動に取り組めるよう、個性・発達を大切に見守り、安心・安全のもと、楽しく生き生きと過ごせる保育を実施しました。
- 2 縦割り保育、地域との交流を推進することで、多くの人たちと関われる機会を持ち、社会性・道徳性を育むための環境づくりをしました。
- 3 園舎建て替え中でしたが、子ども達の感動や発見を引きだす環境を設定しました。感動が次の活動の意欲につながるよう、保育内容の充実に努めました。
- 4 地域の方や利用者からの声を活かし、育児講座を開催しました。また育児相談に応じ、地域に必要とされる保育所となるよう努めました。
- 5 乳児棟屋上での活動や、近隣の公園や区の農園の利用、地域施設との交流を多く持っていきました。また、屋内でも活動内容を工夫し、生活環境の幅が狭まらないように保育内容の充実に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	1,800		
購入等合計	1,800	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		改築関連備品等	5,608
購入等合計	0	購入等合計	5,608
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
改築関連備品等	24,742	改築関連備品等	4,769
設備移設、引越等	2,500	設備移設、引越等	1,962
印刷機購入	2,500	印刷機購入（1月）	1,579
購入等合計	29,742	購入等合計	8,310
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
改築工事費	205,850	システム更新	2,036
		改築関連備品等	3,850
		改築工事費	207,786
購入等合計	205,850	購入等合計	213,672

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	90	90	90	91	91	91	91	93	92	92	92	92	1,095
女児	73	73	73	73	73	72	72	71	71	71	71	71	864
合計	163	163	163	164	164	163	163	164	163	163	163	163	1,959

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	21	28	35	25	26	21	156
平成23年度	21	29	35	26	24	25	160
平成24年度	21	29	34	27	27	25	163

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷保育園

定員 100名

利用者 年間稼働率 117.2%

年間実施延日数 293日 年間利用者数 34,335名 一日平均利用者数 117.2名

【施設運営状況】

- 1 入所については昨年同様117.2%で、特に0、1才児の希望が多くなっていました。年間を通して見学者も多く待機児解消に努めました。
- 2 子育て支援として、体験保育、一時保育等の利用に多く応えました。在園児保護者についても、複雑家庭などのさまざまな悩みや問題の相談を行い、関連機関等の情報提供や連携を図りました。
- 3 第三者評価の実施により、保護者の意見や要望を十分に受け止めて保育サービスの充実に努めました。また職員アンケートから、職員の連携や保育内容について課題を発見し、改善に取り組みしました。
- 4 地域に向けての子育て情報の発信や園行事、育児講座などを行い、地域親子と園児との交流を楽しみながら、保育園が持つ専門性を十分発揮することが出来ました。
- 5 職員の資質向上に向け、職員それぞれの目標に合わせた園内外の研修の充実に努めました。また、リーダー層については、職員育成、保育の充実に向けそれぞれが発揮出来るよう、話し合いを取り組むことが出来ました。

【利用者支援状況】

- 1 年間を通して、子供たちは行事や様々な保育活動に進んで取り組み、自主性や協調性がつき自分で考えられるようになりました。
- 2 家庭的な雰囲気の中で、個々の成長発達を捉えながら、安全で情緒が安定した生活ができました。
- 3 縦割り保育で異年齢児と関わり、また、ボランティア、地域の方々と交流する中でやさしさや思いやりの気持ちが育ちました。
- 4 運動能力の向上を目指して、日々継続して運動遊びを取り入れ健康な身体づくりが出来るようになりました。
- 5 子ども一人ひとりの成長発達や興味、関心に沿った保育の提供が出来、特に進級、就学前は目覚ましい成長が見られました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
陶芸窯	890	陶芸窯	890
システム更新	2,100		
購入等合計	2,990	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
電動式テント設置	980	電動式巻上げテント設置	1,223
購入等合計	980	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
印刷機	900		
購入等合計	900	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	1,548
購入等合計	0	購入等合計	1,548

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	69	69	69	69	68	68	67	67	67	65	64	64	806
女児	52	52	52	52	52	52	53	53	53	54	54	54	633
合計	121	121	121	121	120	120	120	120	120	119	118	118	1,439

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	12	16	21	27	23	17	116
平成23年度	11	16	22	22	27	21	119
平成24年度	11	15	22	23	21	26	118

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名 大山保育園

定員 122名

利用者 年間稼働率 104.5%

年間実施延日数 293日 年間利用者数 37,355名 一日平均利用者数 127.5名

【施設運営状況】

- 1 入所状況月124.7名で弾力で2.7名を受け入れ、稼働率104.5%と安定した運営ができました。また、子ども子育て関連三法の成立を踏まえ、情報収集を行うとともに勉強会に積極的に参加しました。
- 2 第三者評価を受審し、職員・保護者のアンケートから浮かび上がった課題等を職員間で共有して、保育の改善に努めました。
- 3 高齢者施設訪問・高齢者による絵本の読み聞かせの交流や、公園にいる親子を誘い、出前保育に積極的に取り組みました。
- 4 防災対策・安全対策の見直し・マニュアルづくり等により安全を確保することで、園児・保護者への安心に繋がりました。園舎の建て替えについても、保護者の理解を得て基本設計まで進めることが出来ました。
- 5 新人・中堅のチューターを導入し育成を進めました。また園内研修・法人研修・区研修・外部研修等に参加し人材育成・質の向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの成長に合わせ支援することで子どもの成長に繋げることができました。また「たくましく生きる力」を目標に意識して保育内容の充実に努めました。
- 2 長時間保育の増加に合わせて、保育環境を整え家庭の雰囲気が出るように工夫し、保護者とのコミュニケーションを図りながら職員間の連携を密にして、保護者の就労支援に努めました。
- 3 子どもたちの運動機能の低下に対応し、親子ウォーキング・散歩・じゃれつき遊び・10分間体操を継続させ、体力向上に努めました。育児講座では、親子で体を動かせるように、地域の親子にも参加を呼び掛け成果に繋がりました。
- 4 近隣の大学生・中学生のボランティアや実習生を積極的に受け入れて、子どもとの交流の場としたことで、互いの刺激となり良い成果に繋がりました。
- 5 家庭と保育園が連携を密にして子どもの成長に繋げること、また、互いの信頼関係が築けるよう努力しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	1,300		
基本設計料	6,800		
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		コンベクションオープン	1,412
		システム更新	1,212
		改築工事基本設計料	4,725
		境界確定測量業務	814
購入等合計	8,100	購入等合計	8,163

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	73	74	74	73	73	74	74	74	74	74	74	74	885
女児	51	51	51	51	52	51	51	50	51	51	51	51	612
合計	124	125	125	124	125	125	125	124	125	125	125	125	1,497

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	12	20	21	24	24	24	125
平成23年度	12	20	21	24	23	24	124
平成24年度	12	20	21	24	24	24	125

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷第二保育園 定員 190 名

利用者 年間稼働率 106.4 %
年間実施延日数 293 日 年間利用者数 55,080 名 一日平均利用者数 188.0 名

【施設運営状況】

- 1 改築工事中は、保護者・近隣に協力を呼びかけながら、園児・地域の安全確保に努めました。1月に新園舎が竣工し、引っ越しや園児の移行もスムーズに行え、無事に新園舎での保育を開始しました。
- 2 年度当初より入所定員の弾力化を行い、10月より174名定員に対し190名入所し、月間利用率109.2%となりました。1月21日より定員を190名に増員し3月まで月間利用率100%、年間稼働率106.4%でした。
- 3 利用者の権利を尊重しながら、専門的知識と技能を活かし、保育所の役割を果たしました。年々育児困難家庭が増えるなか、公的専門機関と連携し保護者・地域の育児支援に努めました。
- 4 福祉サービス第三者評価を受審し、保護者の意見を受け止め、多様な保育サービスの提供や充実、職場環境や業務内容・研修の改善につなげました。
- 5 職員育成計画に基づき、キャリアパスシート、チューター制度、研修の充実を図り、職員育成に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 改築工事中は、大型車の出入りが多かった為、交通事故等の防止に努めました。また、新園舎に移行後は、慣れない環境で思わぬ事故が起きぬよう、園児の安全確保に配慮し保育を行いました。
- 2 子どもの生きる力の基礎づくりとして、運動量を増やし、また、様々な経験や体験、文化の伝承から豊かな心を持った健康で逞しい子どもの育成を目指しました。
- 3 子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの発達に合わせた保育を行うとともに、保育士等の適切な言葉かけや対応により、子どもの自己内対話能力を育て、自分で判断できる子どもの育成に努めました。
- 4 安全で衛生的環境を用意し、本園に蓄積された保育・保健・栄養等のノウハウを活かし、子どもたちが安心して過ごせるように努めました。
- 5 地域のご老人とともに畑づくりを行い、栽培した野菜を調理するなど食に関する活動に取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	1,600	設計料	20,643
		改築工事費	5,145
購入等合計	0	購入等合計	25,788
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
改築工事費	192,430	改築工事費	195,677
購入等合計	192,430	購入等合計	195,677
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
改築工事費	303,337	改築工事費	341,121
改築関連備品費	22,000	改築関連備品等	14,151
施設設備移設等	2,800	移設費等	3,036
		システム更新	1,830
購入等合計	328,137	購入等合計	360,138

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	95	96	96	99	99	99	101	101	101	101	101	101	1,190
女児	86	87	90	90	89	90	89	89	89	89	89	89	1,066
合計	181	183	186	189	188	189	190	190	190	190	190	190	2,256

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	24	30	32	36	33	34	189
平成23年度	24	32	36	33	36	30	191
平成24年度	24	30	32	36	32	36	190

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名 **みなと保育園**

定員 **70**名

利用者 年間稼働率 **103.5**%

年間実施延日数 **293**日 年間利用者数 **21,223**名 一日平均利用者数 **72.4**名

【施設運営状況】

- 1 定員の弾力化(3名)を行い、100%を超える稼働率を保ち、安定した運営ができました。
- 2 区と連携して放射能検査を行い、また災害対応のための備蓄を整備し、子ども達の安全を確保しました。
- 3 第三者評価を受審し、その結果にもとづいて、課題を整理して改善に取り組むことが出来ました。
- 4 防災訓練に加え、近隣の警察署の協力を得て防犯訓練を行い、職員の意識の向上はもちろんの事、保護者の安心にも繋がられました。
- 5 園内外の様々な研修を通して学んだことを活かし、職員間でのスキルアップに繋げることができました。また、積極的に他園の施設見学を行い、保育に活かすことが出来ました。

【利用者支援状況】

- 1 園全体で環境の改善に取り組み、連続性のある保育を実践することが出来ました。
- 2 縦割り保育が定着してきたことで、年齢を超えたかかわりや一人ひとりの発達を的確に捉え、援助することが出来ました。
- 3 地域交流として取り組んでいる和太鼓は、幼児の参加者が増え、母親同士の交流の場になっています。また、乳児を中心とした保育所体験は、育児相談の場ともなり、好評を得ています。
- 4 家庭や地域社会との連携を図り、保育のノウハウを活かし、保護者の育児力向上に向けて積極的な支援に努めました。
- 5 保護者の保育参加を積極的に受け入れ、子どもの育ちや園での姿を見ていただき、保育園への理解に繋がれるように努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
屋上給湯器取替工事	840		
排水管工事	3,000		
システム更新	1,600		
購入等合計	5,440	購入等合計	
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		排水管工事	2,100
		屋上給湯器取替工事	840
購入等合計	0	購入等合計	2,940
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		防音工事	8,183
		システム更新	1,527
購入等合計	0	購入等合計	9,710

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	38	38	39	39	39	39	40	40	39	39	39	39	468
女児	33	34	34	34	34	34	33	33	33	33	33	33	401
合計	71	72	73	73	73	73	73	73	72	72	72	72	869

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	7	11	13	15	13	10	69
平成23年度	7	11	13	14	14	12	71
平成24年度	7	11	12	15	13	14	72

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名 同援みどり保育園

定員 125 名

利用者 年間稼働率 103.9 %

年間実施延日数 293 日 年間利用者数 38,057 名 一日平均利用者数 129.9 名

【施設運営状況】

- 1 前年度に引き続き定員の弾力化を行い、待機児解消に努めました。年間を通して安定したサービスの提供に努めました。
- 2 保護者の就労支援のみならず「育児困難家庭の支援」が、当保育園も大きな課題となりました。必要に応じて専門機関と連携して、保護者の育児不安や育児力低下のサポートに努めました。
- 3 地域の未就園児を持つ保護者に対して、様々な「楽しい経験」を提供して「保育園での生活」を紹介いたしました。また、地域のニーズや子育てに関する悩みを把握し育児相談を行い地域支援を致しました。
- 4 防災については、災害対策の強化に向けて訓練やマニュアルの整備を行い、BCP作成についても検討致しました。また、リスク小委員会の活動も活発に行い、防災以外の様々なことも想定して園内の整備等に努めました。
- 5 第三者評価を受審し、保護者の意見や要望を十分に受け止めて保育サービスの見直しに努めました。また、職員アンケートから職場環境、業務内容、人材育成などの課題や具体的な改善方法などの検討に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 成長・発達に合った集団ならではの遊びを多く取り入れ、子ども達の、友達を認め合う気持ちや人との支え合いを大切にしたい保育に心がけました。
- 2 子ども達が安心して過ごせる生活の場を提供するために、全職員で保育環境の見直しに取り組み施設整備に努めました。特に安全性を重視しての園庭改修工事は、園児のみならず保護者にも良い評価を得られた。
- 3 行事等で、子ども達が自然に「異年齢児とかかわる姿」から、縦割り保育の素晴らしさも保護者に伝えることができ良い評価をいただきました。また、子ども達の中でやさしさや思いやりの気持ちが育ちました。
- 4 「運動能力の向上」を目指して、日々運動遊びを取り入れて、運動が苦手な子どもにも働きかけ、健康な身体づくりが出来るようになりました。また、難しい動きに挑戦し達成することで、子ども達に自信が生まれました。
- 5 長時間保育の利用が多い為、出来るだけ担任と保護者が直接話をする機会を多く作ることで、保護者との関係に良いコミュニケーションが生まれました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
0歳児保育室棚	700	乳児室流し台取替	735
システム更新	1,400		
購入等合計	2,100	購入等合計	735
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
園庭改修工事	12,500	園庭改修工事	11,542
購入等合計	12,500	購入等合計	11,542
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
事務所流し台取替	1,300		
購入等合計	1,300	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	1,748
購入等合計	0	購入等合計	1,748

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	69	69	69	69	69	69	69	71	71	71	71	71	838
女児	58	59	61	61	61	60	60	61	61	61	61	61	725
合計	127	128	130	130	130	129	129	132	132	132	132	132	1,563

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	12	17	24	23	25	25	126
平成23年度	12	19	24	25	25	24	129
平成24年度	12	21	24	25	25	25	132

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名 つつじが丘保育園 定員 110 名

利用者 年間稼働率 120.0 %
 年間実施延日数 293 日 年間利用者数 38,686 名 一日平均利用者数 132.0 名

【施設運営状況】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、専門知識的知識、技能を生かし、保育所の役割を果たしました。保育困難児の対応も、一人ひとりに合わせた対応や専門機関と連携等により、子育て支援に努めました。
- 2 保育園を核として、様々な機関や組織と連携し、地域の子育て支援、就労支援の充実に努めました。
- 3 待機児童解消に向け、年度当初より積極的に受け入れを行いました。又一時保育は希望者が多く、延427名と前年度の約2倍の人数となりました。
- 4 職員育成計画・チューター制度の充実・研修の充実を図り、職員が日々研鑽できる職場環境を作る等して、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材育成を目指しました。
- 5 子ども子育て関連3法の成立をふまえ、変化に応じた対応が出来るよう職員皆で情報を共有しました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や精神面・家庭環境を把握し、生活リズムを整えると共に、楽しく身体を動かし、健康な身体作りを目指しました。
- 2 様々な行事や日々の保育の中で、実体験を通した色々な活動を取り入れることで、子どもの生きる力、感謝の気持ちを育てました。
- 3 生活や遊びの中で様々な表現活動を楽しみながら、子どもたちの豊かな感性を育みました。
- 4 縦割り保育の中や近隣の保育園、小学校との触れ合いを通して、子どもたちが共に生活し、互いに関わりながら、優しさや思いやりの気持ちが育つように援助しました。
- 5 安心、安全な園生活が出来るよう、環境整備の充実と、子どもたちが明るく生き生きと過ごせる環境作りに努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
外壁表側塗装	7,500	園舎壁面塗装工事	6,750
システム更新	2,200		
購入等合計	7,500	購入等合計	6,750
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
テント張り替え	500	テント張り替え工事	4,725
保育室ドア補修	1,000		
購入等合計	1,500	購入等合計	4,725
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
わくわく冒険ランド補修	1,200		
購入等合計	1,200	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
園庭整備	230	園庭整備	1,200
		大型遊具補修費	6,687
		システム更新	2,104
購入等合計	230	購入等合計	8,991

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	57	57	59	58	57	56	56	56	57	57	57	57	684
女児	69	69	71	72	72	74	77	77	77	77	77	77	889
合計	126	126	130	130	129	130	133	133	134	134	134	134	1,573

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	21	21	23	23	23	25	136
平成23年度	21	22	22	22	22	22	131
平成24年度	20	24	23	23	22	22	134

平成24年度 事業報告書（保育所）

施設名 同援さくら保育園

定員 108名

利用者 年間稼働率 110.0%

年間実施延日数 293日 年間利用者数 34,797名 一日平均利用者数 118.8名

【施設運営状況】

- 1 入所については弾力入所を行い、年間稼働率110%と前年より高くなりましたが、幼児クラスの待機児童が少なく、年度後半、転居による退園後の入所がありませんでした。
- 2 職員による園の自己評価を行い、保育の振り返りを行いました。また第三者評価を受審し、保護者・職員からの意見を受け止め、その改善状況、園の方針については懇談会等で伝えていき、園運営の理解に繋げていきました。
- 3 保護者、地域における子育て中の方が気軽に参加出来る育児講座（ベビーマッサージ、ヨガ等）の回数を増やしたり、情報誌を配布して、子育ての楽しさ、関わり方を積極的に伝えていきました。
- 4 計画的な研修参加、職員による絵画指導等の園内研修、開園時より継続している職場におけるコミュニケーション力の園内研修の実施、また、チューター制度の定着により、職員の質の向上、人材育成に繋がりました。
- 5 国が進める子育て関連3法の動向については、研修会等へ参加し、職員間での情報の共有を行い、さらに今後の動向にも目を向けていくようにしました。

【利用者支援状況】

- 1 園目標の「生きる力を育てる」保育に向け、乳幼児期ならではの生活リズムの大切さ、身体を動かして遊ぶことの大切さについて、園だより、クラスだより、懇談会、個人面談を通して伝えていき、共通理解のもとに保育を進めました。
- 2 日々の園生活の中で、他クラスの異年齢児との交流、複合施設の高齢者の方との交流、地域の親子、他園、ボランティアとの交流を通し、人と関わる事の楽しさや大切さを知らせると共に心の豊かさを育てました。
- 3 年齢発達に応じた保育環境・活動を提供する中で、運動能力の向上を目指して継続して運動遊びを取り入れてきたことで、以前よりも自ら体を動かして楽しく遊ぶ姿が増えました。
- 4 計画的な園内外の研修の実施・参加により、職員の質の向上に努め、日々の保育、特別保育事業の充実に繋げていきました。
- 5 防災について、毎月の訓練をより具体的に想定し実施していく事で、職員の共通理解を図りました。また、昨年度から引き続き、給食の食材産地の情報提供を行い、園児の安心、安全に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
門扉改修	1,940	門扉改修	1,913
コピー機購入	964	コピー機購入	913
システム更新	1,800	1歳児収納棚設置	1,134
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
登はん棒安全対策	962	登はん棒安全対策	962
園庭収納庫購入	855	登はん棒	950
1歳児収納棚設置	1,369		
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
登はん棒	950	園庭収納庫購入	855
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	2,147
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	51	51	51	51	51	51	51	50	50	50	50	50	607
女児	69	69	69	68	68	68	68	68	68	68	68	68	819
合計	120	120	120	119	119	119	119	118	118	118	118	118	1426

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成22年度	15	20	20	21	22	21	119
平成23年度	15	20	20	21	22	20	118
平成24年度	15	20	20	22	19	22	118

2 高齢者支援系福祉サービスの経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、並びに地域包括支援センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 地域自治会や民生委員等との連携を深め、一人暮らし高齢者の相談や生活支援の他、家族向け介護講習会などを積極的におこない、地域の拠点施設としての役割に努めました。
- 2 優秀な人材を確保するとともに、利用者の立場に立ち、「個人の尊厳」や「一人ひとりに応じた自立支援」のできる貢献度の高い福祉人材の育成を目指し、ヘルパー2級養成校の運営を行いました。
- 3 質の高いサービスを提供し続けるため、積極的に第三者評価機関等による情報開示や多くのボランティアの導入を行い、法令を遵守し施設運営を行いました。
- 4 社会福祉法人としての役割を担い、地域ニーズに即した小規模多機能居宅介護事業に加え、グループホームやデイサービスセンター、地域交流室を備えた高齢者複合施設を開設するなどの新規事業展開に努めました。
- 5 新人研修やフォローアップ研修をはじめ、援助技術向上のためのグループ研修や介護職員交換研修の他、各施設が介護職員の技術向上のための研究をおこない、グループ全体のサービスの向上に繋げることができました。
- 6 利用者本位の個別ケアの促進のため、グループ全体で高品質な介護用品の選定をおこないました。これによりコスト削減に繋がりました。
- 7 東京都経営支援事業の努力加算の算定が可能となるような体制作りを行い、収支バランスの改善に努めました。

1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護しました。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与しました。なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されています。

3 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助を行いました。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、常時介護を必要とされ、居宅においてこれを受けることが困難であり、介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給にかかる方等を養護しました。

5 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行いました。

6 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障があり、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

7 地域包括支援センター

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行いました。

8 小規模多機能型居宅介護事業

小規模多機能型居宅介護事業は、平成18年4月から始まった地域密着型サービスのひとつで、事業所に登録している利用者に対して、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供し、介護の効果の高いサービスを提供します。平成25年3月25日に開設し職員研修及び運営準備を行いました。

9 居宅介護支援事業所

居宅において介護保険で受けられる指定居宅サービスや特例居宅介護サービスなどの紹介、いろいろなサービスの調整、居宅支援サービス費にかかる費用の計算や請求などを要介護者の代わりに行いました。介護支援専門員(ケアマネージャー)が、介護支援計画(ケアプラン)を作成し、その他の介護に関する専門的な相談に応じました。

- | | |
|---------|----------------|
| ① フジホーム | 昭島市中神町1260 |
| ② 原町ホーム | 新宿区原町3-8 |
| ③ ゆたか苑 | 豊島区長崎2-26-4 |
| ④ ひかり苑 | 東村山市富士見町2-7-40 |

10 訪問介護員養成研修事業

訪問介護員(ホームヘルパー)は、都道府県知事の指定を受けた訪問介護員養成研修事業者の行う研修の課題を修了し修了証書の交付を受けたものです。雇用の拡大ならびに質の高い介護人材の確保や、資格を持たない職員の育成を目的として行いました。

2級課程(通学)開催期間 平成24年10月1日から平成24年12月21日
受講者11名会場 昭島市中神町1260

平成24年度 事業報告書（養護老人ホーム）

施設名	万世敬老園		定員	200名	
利用者	年間稼働率	100.2%	平均年齢	79.2歳	(最高 96歳)
	男女比率	10:9			(最低 60歳)
	平均在所期間	8.1年	(最長	25.5年)	
	年間入所	13名	主な入所理由	独居、帰来先なし、被虐待	
	年間退所	12名	主な退所理由	死亡、他施設(特養)への入所	
年間実施延日数	365日	年間利用者数	73,172名	一日平均利用者数	200.5名

【施設運営状況】

- 1 共同場所の空調機入替、食堂LED照明への交換など、利用者の生活環境向上に繋がる整備を行いました。
- 2 食堂耐震補強工事、トイレのバリアフリー工事など、老朽化対策、安全対策を実施いたしました。
- 3 感染症及び事故防止として、消毒清掃業務の徹底を図りました。
- 4 利用者生活支援システムの活用で情報を管理し、組織の秩序作り及び部署間の連携強化に取り組みました。
- 5 利用者と職員との協働活動の場面設定を行い、地域の一員としての生活や施設の社会化に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者それぞれの望む自立生活を支援しました。
- 2 生活空間をより効率的に、また生活感をより豊にするため、環境の創意工夫を実践しました。
- 3 利用者のADLや自立生活への意欲の低下等に対して、貢献活動の向上支援に努めました。
- 4 健康的で、その人らしい生活や活動を支援し、介護や病気の予防に取り組みました。
- 5 ケースワークの充実を図り支援に取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
2FWCバリアフリー工事	2,500	消防誘導灯	1,000
消防誘導灯	1,000	中庭舗装、屋根移設工事	876
中庭舗装、屋根移設工事	1,000		
システム更新	1,800		
購入等合計	6,300	購入等合計	1,876
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
避難用滑り台塗装	700	2FWCバリアフリー工事	2,205
テレビ台50台	800	システム更新	1,678
食堂LED照明	1,400	避難用滑り台塗装	538
		テレビ台50台	788
		食堂LED照明	1,247
購入等合計	2,900	購入等合計	6,456
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
空調機入替	4,800		
購入等合計	4,800	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
食堂耐震工事	12,510	食堂耐震工事	12,054
食堂関連整備	6,300	空調機入替	4,137
温冷配膳車	3,000	システム更新	1,635
購入等合計	21,810	購入等合計	17,826

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	108	108	108	110	110	110	110	110	109	111	112	111	1,317
女性	92	92	91	91	91	92	89	90	90	90	90	90	1,088
合計	200	200	199	201	201	202	199	200	199	201	202	201	2,405

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成22年度	202	3	18	37	57	45	28	14
平成23年度	200	4	17	40	61	38	24	16
平成24年度	201	3	17	36	53	42	32	18

平成24年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	サンホーム		定員	50名	
利用者	年間稼働率	100.0%	平均年齢	83歳	(最高 96歳)
					(最低 67歳)
	男女比率	16/34			
	平均在所期間	6年	(最長	22年)	
	年間入所	2名	主な入所理由	家庭の事情	
	年間退所	2名	主な退所理由	他の老人ホームへの入所	
年間実施延日数	365日	年間利用者数	18,250名	一日平均利用者数	50.0名

【施設運営状況】

- 1 利用者の入れ替わりは年間2名ほどでしたが、稼働率は100%を維持する事が出来ました。今後も、居宅支援事業所始め、地域に情報を公開し利用率の向上に努めて行きます。
- 2 地域への施設理解を広める意味で、雑学交流会に取り組んでいましたが今後もより参加しやすい方法を模索します。
- 3 第三者評価については今年も実施し、職員資質の向上をめざし利用者満足に繋げるようにしました。
- 4 施設内外の研修に積極的に参加し、さまざまな考えを自分のものとして持ち帰って全体にも広げるようにし職員資質の向上を目指しました。
- 5 感染症マニュアルを充実し、感染症予防実施に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 年2回家族会を実施する事で施設状況など保証人に伝える事が出来、また講演会を行い保証人がホームに来て頂く機会を作り、ホームの運営にご理解いただけるように努めました。
- 2 ケアプラン会議においては、利用者の意思を尊重したプランとなるよう取り組み方を全体で共有しながら働きかけ等おこないまとめるようにしました。
- 3 防災倉庫の備蓄品と非常食の充実を目標に補充を図りました。利用者さんには非常食の試食会を行い、防災意識が高まるように消防署の方との訓練・講義を行いました。
- 4 利用者個々人の健康維持増進の為利用者全員の身体状況を把握し、個別的栄養改善を行いました。
- 5 自立した生活が難しくなってきた利用者に対しては、必要な外部サービス、保証人、職員と連携を図り安全に暮らしていただけるよう配慮しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
厨房排水改修、換気工事	2,150		
車両購入	3,380		
システム更新	1,200		
購入等合計	6,730	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
浴室天板取替工事	592	厨房排水改修、換気工事	1,025
殺菌消毒庫購入	599	車両購入	2,665
購入等合計	1,191	購入等合計	3,690
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		殺菌消毒庫購入	2,950
購入等合計	0	購入等合計	2,950
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
消毒保管庫	998	浴室天板取替工事	349
		消毒保管庫	588
		システム更新	1,430
購入等合計	998	購入等合計	2,367

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	15	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	187
女性	35	35	35	35	35	34	34	34	34	34	34	34	413
合計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成22年度	50	0	1	3	6	17	15	8
平成23年度	50	0	2	2	8	18	12	8
平成24年度	50	0	2	2	9	15	15	7

平成24年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	ライトホーム	定員	50名
利用者	年間稼働率 66.8%	平均年齢 81.82歳	（最高 92歳） （最低 68歳）
	男女比率 4:28		
	平均在所期間 11年	（最長 23年）	
年間入所	2名	主な入所理由	虐待による緊急一時保護
年間退所	5名	主な退所理由	特養への住み替え
年間実施延日数	365日	年間利用者数 12,199名	一日平均利用者数 33.4名

【施設運営状況】

- 1 計画的に利用者を減じており、稼働率等も減じています。
- 2 財務面においては物品購入時の単価見直し、その他契約見直し等を行い、取崩額の減に努めました。
- 3 第三者評価を受審し、情報公開に努めました。
- 4 職員の育成においてはマニュアルを利用した教育、OJTの充実により新人の育成にあたりました。
- 5 地域との関わりにおいては、園の介護予防活動に地域利用者を招待する等地域との連携に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 日常生活支援においては積極的な見守りに努め、早急に体調の変化に対応してまいりました。
- 2 行事企画に幅を持ち、季節の移り変わり、四季折々に行事を織り交ぜ、日々の活動が楽しめるよう支援に努めました。
- 3 個別支援においては個人面談等で、個別ニーズの把握に努め、ヘルパー等外部の介護力を使用し自立した生活の継続に努めました。
- 4 重度加算対象者への対応を行い、日々の生活がより安心して営めるよう支援してまいりました。また、介護予防にも積極的に取り組み致しました。
- 5 退去される利用者へのアフターフォローに努め、個人、家族、関係機関との連携に勤めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	1,100		
購入等合計	1,100	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	891
購入等合計	0	購入等合計	891

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	52
女性	30	31	30	30	30	30	28	29	28	28	28	28	350
合計	35	36	35	35	34	34	32	33	32	32	32	32	402

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成22年度	43	0	2	4	9	11	13	4
平成23年度	36	0	1	3	8	9	12	3
平成24年度	32	0	1	4	6	8	9	4

平成24年度 事業報告書（救護施設）

施設名	昭島荘	定員	100名
利用者 年間稼働率	100.0%	平均年齢	67歳（最高87歳） （最低38歳）
男女比率	52/48		
平均在所期間	17年	（最長	53年）
手帳保持者	93名	（愛の手帳19名、身障手帳19名、左記両手帳7名、精神障害保健福祉手帳48名）	
年間入所	4名	主な入所理由	精神科病院・更生施設から入所
年間退所	4名	主な退所理由	長期入院・死亡
年間実施延日数	365日	年間利用者数	36,501名
		一日平均利用者数	100.0名

【施設運営状況】

- 多様な障害者を幅広く受け入れセフティネットの機能を果たしました。
- 空調システムの更新など、利用者の生活環境向上に直結する整備を実施いたしました。
- 支援システムによる金銭管理業務や情報伝達がスムーズになりました。
- 職員の資質向上のため外部研修はもとよりケアに関する研修や「精神疾患患者への支援」など内部研修も充実させました。
- 接遇についての「確認カード」の作成など職員全員に徹底させました。

【利用者支援状況】

- 平均年齢67歳。疾病や傷害の重度化により機能低下が顕著になってまいりました。
- 精神疾患者が半数おり季節による入退院が多く、医療機関との調整が頻繁になってきました。
- 支援全般に亘る重点目標と介護上の重点目標を個別支援計画に反映いたしました。
- 日中活動の充実を図るべく利用者の適正や個別化を図って参るとともに、利用者の嗜好や希望を留意した園内行事や外出活動を企画いたしました。
- 地域生活移行事業の一環として「一時入所事業」の本格的な活動を行いました。24年度利用延べ日数は97日でした。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
食堂遮光カーテン他	2,850	食堂遮光カーテン他	2,776
居室扉交換工事	7,000		
システム更新	2,000		
購入等合計	11,850	購入等合計	2,776
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
食堂床張替改修工事	1,200	食器戸棚購入	1,453
2階洗面所自動水栓設置	1,600	2階洗面所自動水栓設置	1,380
雨トイ交換工事	7,600	雨トイ交換工事	1,090
購入等合計	10,400	購入等合計	3,923
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
大規模修繕工事（エアコン）	48,000	食堂床張替改修工事	1,202
		大規模修繕工事（エアコン）	46,809
		雨トイ交換工事	2,990
購入等合計	48,000	購入等合計	51,000
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
食器戸棚購入	1,500	居室扉交換工事	6,953
		雨トイ交換工事	1,623
		システム更新	1,575
購入等合計	1,500	購入等合計	10,151

利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	624
女性	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	576
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	101	0	0	0	0	3	2	1	95
平成23年度	100	0	0	0	0	2	1	2	95
平成24年度	100	0	0	0	0	1	2	1	96

平成24年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	フジホーム	定員	100名		
短期入所	専用	4名	空床利用	6名	
利用者	年間稼働率	94.6%	（特養	92.6%	短期入所 144.2% 空床利用含む）
	男女比率	2：8	平均年齢	87.3歳	（最高 108歳） 平均要介護度 3.6 （最低 64歳）
	平均在所期間	4年	（最長	18年）	
	年間入所	15名	主な入所理由	在宅での介護が困難なため。	
	年間退所	15名	主な退所理由	死亡、長期入院。	
特養・短期	年間実施延日数	365日	年間利用者数	35,920名	一日平均利用者数 98.4名
居宅介護支援	年間実施延日数	245日	年間利用者数	974名	一日平均利用者数 4.0名

【施設運営状況】

- 1 フジホームの理念である「その人らしい生活の実現」を目指して努力してきましたが人員の異動が多く人材育成が追いつかず、完全に実現するには至りませんでした。
- 2 稼働率の維持・向上の為、早期面接・待機者の確保等努めましたが目標96.5%に対して94.6%という結果となりました。
- 3 ご家族のケアプラン会議への参加は、予めご家族へ予定をお知らせし、順調に参加していただき、情報の共有や個別ケアを推進してきました。
- 4 介護技術や接遇技術については、研修に参加することやOJT等に対応してきました。特に認知症ケアの向上の一環として外部団体の発表会へ参加することで、やる気の維持に努めました。
- 5 栄養士、介護職員と共同して利用者の食の安全、おいしい食事の提供に努めました。なるべく口からの食事摂取を実現するための取り組みも行いました。

【利用者支援状況】

- 1 フジホームのメインテーマである「寄り添う介護」の意味を掘り下げ、心にも身体にも寄り添えるように職員教育に力を入れました。
- 2 職員教育の一環として、権限委譲を積極的に行ない、一人一人の職員が考えることが出来る力を養い、行事企画等を積極的に現場職員が行なうことが出来ました。
- 3 21年度から行なってきた、排泄スタイルのQOL向上が全フロアで実践化され、「オムツよりパンツ」として職員意識の向上も出てきました。
- 4 口腔ケアから嚥下訓練に至る過程で、嚥下状態の確認のため内視鏡を活用した検査を基に嚥下状態の把握と適切な食事形態・食事介助を提供することが出来ました。
- 5 重度化している利用者に対して、改めて基本的な身体介護の充実を図り、きめの細やかなケアを提供するとともに認知症利用者に対して、見当識を配慮した介護を提供することが出来ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
消火器入れ替え	500	消火器入れ替え	329
誘導灯非常灯交換	1,500		
システム更新	2,500		
購入等合計	4,500	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
冷温水・冷却水ポンプ工事	1,500	ボイラー整備	1,522
		非常灯交換	1,554
		冷温水機洗浄	997
購入等合計	1,500	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
ボイラー修理	1,500	パソコン	1,016
パソコン	1,000		
購入等合計	2,500	購入等合計	1,016
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	2,314
購入等合計	0	購入等合計	2,314

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	20	20	19	18	18	18	18	17	17	17	17	17	216
女性	79	79	78	77	77	76	81	81	79	80	81	82	950
合計	99	99	97	95	95	94	99	98	96	97	98	99	#####

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成22年度	99	0	0	3	7	29	28	26	93
		2	3	201	488	629	687	238	2,248
平成23年度	99	0	0	6	12	28	19	33	98
	27	10	4	86	643	985	230	358	2,316
平成24年度	99	0	0	3	14	26	19	37	99
	21	0	0	62	410	1,024	144	466	2,106

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成24年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ニューフジホーム		定員	100名	
短期入所	専用	4名	空床利用	6名	
利用者	年間稼働率	96.0%	（特養	95.2%	短期入所 114.7% 空床利用含む）
	男女比率	2:8	平均年齢	85.2歳	（最高 99歳） 平均要介護度 3.8 （最低 56歳）
	平均在所期間	4.2年	（最長	16年）	
	年間入所	24名	主な入所理由	自宅介護困難、経済的理由、家族による虐待等	
	年間退所	19名	主な退所理由	死亡、長期入院等	
特養・短期	年間実施延日数	365日	年間利用者数	36,440名	一日平均利用者数 99.8名

【施設運営状況】

- 1 新規入居者の迅速な受入と短期入所生活介護の空ベッド利用を積極的におこない稼働率を0.2%向上させて96%を達成、健全経営に努めることができました。
- 2 利用者の人権を尊重し、利用者個々の状況に応じた生活支援の提供ならびにその質の向上を図るために間仕切り家具の導入をおこないました。
- 3 社会福祉法人の役割を担い、低所得者の受入も継続的におこないました。
- 4 毎月の施設内研修に産業医の講義を取り入れたり、個人のスキルに合わせた研修会参加をはじめ、他法人施設の見学なども積極的におこない人材育成に努めました。
- 5 医療的ケアを必要とする方をはじめ、介護度や認知度の高い利用者も積極的に受入しました。

【利用者支援状況】

- 1 歯科衛生士等との連携強化をおこない「アクティブ福祉！N東京2012」において「笑顔は口元から」をテーマに口腔ケアの大切さや重曹による口腔ケアを発信することができました。
- 2 移乗福祉用具を活用し安心して安全な介護に努めました。
- 3 ソフト食の更なる改善の他、「ミキサー粥」から「ゼーリー粥」への移行等、嚥下機能の低下した高齢者にも安心して食していただける食事提供に努めました。
- 4 タクティールケアを導入し、認知症緩和ケアの向上に努めました。
- 5 ボランティアの協力により、寝たきり高齢者への積極的なアプローチをおこない、意識改善に努めることができ個別ケアの向上に繋がりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
居室等空調改修	3,500	低床ベット	980
温蔵庫、冷凍冷蔵庫	2,000	汚物処理機	788
システム更新	1,800		
購入等合計	7,300	購入等合計	1,768
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
低床ベット	3,000	空調更新	840
エアーマット	665		
購入等合計	3,665	購入等合計	840
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
ストレッチャー	400		
食堂テーブル	500		
購入等合計	900	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
パソコン関連	450	低床ベット	980
		パソコン	231
		食事テーブル	436
		システム更新	1,263
購入等合計	450	購入等合計	2,910

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	15	15	16	16	16	16	14	15	16	17	15	15	186
女性	86	84	81	82	85	86	84	83	82	81	84	85	1003
合計	101	99	97	98	101	102	98	98	98	98	99	100	1189

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成22年度				7	15	26	24	25	97
				319	364	524	277	93	1577
平成23年度				4	14	22	28	33	101
			5	176	513	466	259	156	1575
平成24年度	126			4	6	18	35	34	97
		18		267	473	363	405	148	1674

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成24年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名 **原町ホーム** 定員 **50**名

短期入所 専用 **2**名 空床利用 **4**名

利用者 年間稼働率 **97.9**% (特養 **95.9**% 短期入所 **151.2**% 空床利用含む)

男女比率 **1:21** 平均年齢 **23.3**歳 (最高 **105**歳) 平均要介護度 **3.8**
(最低 **66**歳)

平均在所期間 **4.9**年 (最長 **23.3**年)

年間入所	16 名	主な入所理由	在宅介護困難
年間退所	16 名	主な退所理由	死亡、長期入院

特養・短期	年間実施延日数	365 日	年間利用者数	18,574 名	一日平均利用者数	50.9 名
居宅介護支援	年間実施延日数	289 日	年間利用者数	550 名	一日平均利用者数	1.9 名

【施設運営状況】

- 1 逆デイサービスの取り組みをアクティブ福祉 in 東京、全国老人福祉施設研究会議、新宿区介護保険サービス事業所表彰で発表しました。新宿区より優れた介護福祉事業者として区長賞を受賞しました。
- 2 原町高齢者複合施設が竣工し、新規事業として認知症グループホーム・小規模多機能居宅介護・デイサービスが3月25日に開設いたしました。
- 3 福祉サービス第三者機関、施設オンブズマンによる利用者への面接、調査を実施しました。その結果をもとにサービスの向上に取り組みました。
- 6 利用者の住環境の向上のため、利用者トイレの改修、居室カーテンの取り替え、最新の福祉機器を導入しハード面においてもサービスの向上に努めました。
- 5 地元町会、消防署と合同の防災訓練を行い、災害時における連携を深めるとともに、防災意識の向上に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 ご本人、ご家族に参加いただき、パーソンセンタードケアに基いたケアプランを作成し、生活の質の向上に努めました。
- 2 新規事業開設にあたっては、利用説明会、見学などに多くの参加者がありました。
- 3 ご本人、ご家族の意思を尊重したターミナルケアを進めました。
- 4 オムツ外しを含めた排泄ケアの向上のための取り組みをしました。成功事例については、施設内で研修を行い、知識・技術の共有化を図りました。
- 5 ハプティックケア（認知症緩和療法）の質の向上のため、職員の育成に努めました。結果として、ハプティックケアの質・量の向上に繋がりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
居室カーテン購入	1,400	居室床張替工事	624
利用者食堂テーブル	1,500		
システム更新	2,100		
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
居室床張替工事	700		
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
屋上防水工事	9,600	屋上防水工事	6,300
		ベット購入	974
		居室カーテン購入	1,590
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
複合施設建築	431,001	利用者食堂テーブル	624
屋上倉庫購入	500	複合施設建築	416,161
		システム更新	2,249
購入等合計		購入等合計	2,667,055

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
女性	42	41	41	40	42	43	42	43	42	42	40	42	500
合計	50	49	49	48	50	51	50	51	50	50	48	50	596

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成21年度				3	4	6	19	18	50
	153	0	0	18	87	298	303	371	1,077
平成22年度				4	3	4	14	22	47
	135	5	0	37	90	159	209	458	958
平成23年度				3	6	4	17	20	50
	157	0	0	40	193	108	212	551	1,104

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成24年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ゆたか苑	定員	50名		
短期入所	専用	4名	空床利用	4名	
利用者	年間稼働率	98.9%	（特養	95.7%	短期入所 139.2% 空床利用含む）
	男女比率	4:46	平均年齢	86.4歳	（最高 100歳） 平均要介護度 4.2 （最低 69歳）
	平均在所期間	4.56年	（最長	17年）	
	年間入所	10名	主な入所理由	在宅生活が困難となり施設入所を選ばれたことによる	
	年間退所	9名	主な退所理由	疾患に伴う長期入院および老人性衰弱による死亡のため	
特養・短期	年間実施延日数	365日	年間利用者数	19,498名	一日平均利用者数 53.4名
居宅介護支援	年間実施延日数	245日	年間利用者数	996名	一日平均利用者数 4.1名

【施設運営状況】

- 1 当初予算に対し、概ね予定どおり推移できました経営指標となる利用率は、当初設定の98.5%を上回る98.9%で終了しました。このことから当期活動収支差額では、大規模修繕を除くと約10,000千円となりました。
- 2 平成24年度の大きな支出では、長年繰り返される水漏れ等の改善を行い、全館の防水処理について大規模に修繕を実施しました。
- 3 防災対策を更に強化し、消防計画の見直しや帰宅困難者対策として、マニュアルならびに物資備蓄を行いました。また、職員ならびに地域の安全面に対し、防犯カメラを設置し、防犯対策の強化を図りました。
- 4 地域との関係では、長崎三丁目長会との連携を更に深め、自衛防災、福祉用具使用方法、行事参加、会議室の提供などに努めました。特出すべきは、災害時の要援護者の確認を町会長に依頼し名簿が作成されたことです。
- 5 アクティブ福祉in東京、同援福祉サービス研究ならびに全老協愛知大会にて日頃の取組みを発表しました。このことは、全職員の意識・技術向上に繋がりました。（全老協愛知大会では「最優秀賞」を受賞）

【利用者支援状況】

- 1 施設サービスの基本となる「施設サービス計画書」は、ご家族参加のもと、関係セクションと共により快適にお過ごしいただくため、定期的または必要に応じ見直しました。
- 2 サービスの質向上を常に意識するために、法人の基本方針および理念は毎月職員と共に確認し、「丁寧でやさしい」声掛けのもとケア提供に努めました。特に認知症ケアに対しては、全職員が「パーソン・センタード・ケア」を学習しました。
- 3 施設での楽しみとして、複数のクラブ活動や年間行事を実施しました。また個別なご要望にもできるだけお応えし、個別外出や一泊旅行も実施しました。こうした日常生活内での活動は生活リハビリにも繋がっています。
- 4 ご利用者の健康管理では、年間を通じ感染症防止に努めた結果、ノロウイルスやインフルエンザ罹患者を出すこともなく過ごすことに繋がりました。また、通院が必要な場合は、協力医療機関と速やかな連携を図り対応に努めました。
- 5 在宅支援では、ショートステイで積極的な取組みを行いました。特に虐待ケースや困難ケースへの対応を重点課題としました。入居者の年間入院日数は延べ506日に達し、空床利用によりショートステイの年間利用率は140%となりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
給湯配管交換2期工事	5,000	給湯配管交換2期工事	4,883
間仕切りカーテン交換	1,000		
システム更新	1,600		
購入等合計	7,600	購入等合計	4,883
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
ギャジベッド8台	1,900	電子錠交換工事	998
地下訓練スペースエアコン取替	900	ギャジベッド8台	1,900
購入等合計	1,900	購入等合計	2,898
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
電子錠交換工事	900		
居室洗面台設置	800		
オープン	1,500		
汚物処理機	882		
購入等合計	1,806	購入等合計	
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
全自動洗濯機	950	汚物除去機一式	1,083
事務、娯楽、面接室床工事	900	地下空調・照明器具交換	1,566
		地下天井修繕	1,384
		屋上・外壁防水等修繕	19,425
		システム更新	1,563
購入等合計	1,850	購入等合計	25,021

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	44
女性	46	45	45	46	45	46	44	45	45	44	45	46	542
合計	50	48	48	49	48	50	48	49	49	48	49	50	586

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成22年度	0	0	0	0	2	15	15	16	48
	0	0	0	40	175	566	193	588	1,562
平成23年度	0	0	0	0	2	12	11	25	50
	0	0	0	68	126	781	317	431	1,723
平成24年度	0	0	0	0	1	9	18	22	50
	0	8	15	121	258	370	609	651	2,032

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成24年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ひかり苑		定員	50名	
短期入所	専用	4名	空床利用	5名	
利用者	年間稼働率	98.7%	(特養	97.7%	短期入所 111.8% 空床利用含む)
男女比率	1対3		平均年齢	84.9歳	(最高 103歳 平均要介護度 3.8 (最低 63歳)
平均在所期間	3.8年		(最長 15年)		
年間入所	14名		主な入所理由	在宅生活困難なため家庭からの入所	
年間退所	12名		主な退所理由	死亡退所	
特養・短期	年間実施延日数	365日	年間利用者数	19,460名	一日平均利用者数 53.3名
居宅介護支援	年間実施延日数	245日	年間利用者数	432名	一日平均利用者数 1.8名

【施設運営状況】

- 1 業務の標準化を充実するため、職務分掌の更新を行い職位職階に基づく役割分担を明確化しました。
- 2 職員の人材育成の一環としてアクティブ福祉in東京及び、全国研究大会（名古屋）において業務改善に関する研究発表を行いました。
- 3 地域福祉の拠点施設として第4次東村山市地域福祉活動計画を推進するため、東村山市内4町会の「地域住民懇談会」に参加し地域住民のニーズ把握に努め施設資源の活用を図りました。
- 4 安心・安全な生活環境を保障するため消防計画書及び、事業継続計画書（BCP）の更新を行いました。
- 5 措置入所の受入を今年度も1名いたしました。

【利用者支援状況】

- 1 施設介護計画に基づくサービス提供は、ブロック担当制による「寄り添うケア」「生活リハビリテーション」の充実を図りました。
- 2 認知症利用者に適切なサービス提供を実践するため、施設内及び外部研修に参加して「認知症ケアパス」概念や成年後見制度の活用を推進しました。
- 3 「ブンネ法」及び認知症緩和ケア「ハプティックセラピー」研修へ積極的に受講し、利用者の余暇活動などに活用し好評でした。
- 4 根拠に基づくサービスを提供するため、高校生ボランティアに対する評価システムは、サービスの質の向上及び人材育成、関係機関との信頼関係の構築に繋がりました。
- 5 生活環境の改善を図るため、東側居室6部屋と静養室の全面改修工事を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
厨房排水改修・換気工事	2,150		
システム更新	1,800		
購入等合計	2,150	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
居室改修工事（5部屋）	1,750	厨房排水改修・換気工事	1,219
購入等合計	1,750	購入等合計	1,219
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
電動ベッド購入（5台）	2,250	居室改修工事（7部屋）	2,100
		車両購入（ヴォクシー）	3,390
購入等合計	2,550	購入等合計	5,490
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
消毒保管庫	998	給水・給湯・暖房改修工事	1,036
		システム更新	1,467
購入等合計	998	購入等合計	2,503

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	16	16	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	191
女性	33	33	34	34	34	34	34	34	32	34	35	35	406
合計	49	49	49	50	50	50	50	50	48	50	51	51	597

利用者状況推移

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成22年度	50	0	0	0	5	14	14	17	50
	120	0	0	31	3	317	481	586	1,418
平成23年度	49	0	0	4	5	12	10	18	49
	146	0	4	107	110	455	267	514	1,457
平成24年度	51	0	0	3	6	13	12	17	51
	177	0	7	122	311	518	235	439	1,632

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成24年度 事業報告書（認知症対応型共同生活介護）

施設名	かえで		定員	9名	
利用者	年間稼働率	96.1%	平均年齢	83.6歳	(最高 99歳)
					(最低 73歳)
	男女比率	1.5/8.5			
	平均在所期間	1.8年	(最長 3.8年)		
	年間入所	2名	主な入所理由	在宅介護の継続困難による	
	年間退所	1名	主な退所理由	特養への入居希望あり	
年間実施延日数	365日	年間利用者数	3,158名	一日平均利用者数	8.7名

【施設運営状況】

- 1 認知症によるご本人及び他利用者への影響を考慮しながら、個別ニーズの充足をチームで支援しました。また職員個々のセルフチェックの機会を設け、日々の支援を見直すよう心掛けました。
- 2 家族の集い（年2回）、運営推進会議（年5回）等を通じ、情報の提供及び発信を行いました。相談、苦情に関しては具体的なものは無いものの、外部を含めた相談窓口を改めてご家族に紹介しました。
- 3 施設開設後毎年継続受審している第三者評価では、ご家族、評価機関より高い評価を頂くことが出来ました。また運営推進会議を通じ、地域や他施設の状況を知ることで当ホームの支援の向上に努めています。
- 4 職員の各研修への参加と共に、外部講師を招聘し職員及び地域へ向けての講演会を実施することで、高齢者介護の啓蒙、発信を行いました。
- 5 1名の退去、2名による延べ16日の入院はありましたが、その他は利用者の健康、体調管理や円滑な入退居に努め、稼働率に於いて前年比1.8%増となりました。

【利用者支援状況】

- 1 職員会議やセルフチェック、第三者評価の受審による支援方法の見直しや、研修報告を通じ情報の共有に努めました。
- 2 車両の購入（共同募金による助成を受ける）により、個別の買い物や外食等の機会を随時設けることが出来、ニーズの充足や日々の活動的な生活につなげる事が出来ました。
- 3 日々利用者と食事準備や喫食を共にすることで、日常的な調理や希望を聴く機会を作ることが出来ました。また全体、個別とも外食の機会を数多く設けることで、楽しみの一つである食事の選択肢を増やすことが出来ました。
- 4 基本的な生活リズムは守りつつも日課は最小限に留め、利用者それぞれのペースを尊重した支援を行いました。
- 5 様々なボランティアの活用、地域行事への参加、買物や理髪等の日常的な外出を通じ地域との交流を行いました。また実習生の受入も開始し、将来の福祉を担う人材の育成にも努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
エアコン整備・交換	500		
便器交換他	600		
システム更新	1,100		
購入等合計	2,200	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	500
購入等合計	0	購入等合計	500

年間利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15
女	7	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	91
合計	8	9	9	9	9	9	9	9	8	9	9	9	106

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成22年度	9	0	0	2	4	2	1	0
平成23年度	9	0	0	3	3	1	2	0
平成24年度	9	0	0	3	2	3	1	0

平成24年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名	フジ・デイホーム		1日あたり定員	10名	
利用者 年間稼働率	79.3%	男女比率	2:08		
平均年齢	80.4歳	(最高	93歳)	(最低	55歳)
年間実施延日数	307日	年間利用者数	2,434名	一日平均利用者数	7.9名

【施設運営状況】

- 年間稼働率についてはご利用者の体調不良での当日キャンセルやご入院等による長期に渡る休みが重なり、前年度の83.4%から79.3%へと減少となり目標であった85%を達成することができませんでした。
- 1日のご利用定員10名と小規模運営でのメリットを活かしてニーズに応じた個別支援（レクリエーション・ドライブ等）の充実とおやつ作り等のグループ活動も積極的に実施してきました。
- 地域の福祉を担う一員として、あきしま地域ネットワーク等の連絡会へ積極的に参加して同業種の事業所や居宅介護支援事業所との顔の見える関係作りを行ってきました。
- 将来、介護を担う地域の学生等に施設見学を提供して開かれた施設づくりに取り組んできました。
- 日々のOJTを通して職員が互いに学びあうことができる環境づくりを行ってきました。

【利用者支援状況】

- ご利用者個々の抱えている状況を把握してサービスの質の向上を実現するために介護支援専門員から情報収集を積極的に行い、ミーティング等の機会を活用して職員間の情報共有に取り組んできました。
- 認知症対応型通所施設としてご利用者個々の認知症状を把握しながら、創作活動等（静的活動）や体操等（動的活動）をニーズに沿ってバランスよく組み合わせ提供してきました。
- ご利用者へのサービスの幅を広くするため、特養や一般型通所介護などの行事に参加するなどして複合型施設としてのメリットを活用する取り組みを行ってきました。
- ボランティアを積極的に受け入れレクリエーションの手伝いや、話し相手など利用者には好評でした。
- 職員配置について大幅な入れ替わりがなく、安定したサービスを提供することができ、それがご利用者、ご家族の安心感に繋げることができました。

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	60	60	45	42	45	41	50	46	44	46	51	50	580
女性	145	145	170	184	181	141	144	155	146	151	148	144	1,854
合計	205	205	215	226	226	182	194	201	190	197	199	194	2,434

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
22	介護		78	1,135	980	398	216	2,807
	送迎		78	1,135	980	398	216	2,807
	食事		78	1,135	980	398	216	2,807
	入浴		13	896	421	131	212	1,673
	機能訓練		0	0	0	0	0	0
23	介護		129	1,025	813	305	306	2,578
	送迎		129	1,025	813	305	306	2,578
	食事		129	1,025	813	305	306	2,578
	入浴		13	745	388	109	158	1,413
	機能訓練		0	0	0	0	0	0
24	介護		76	867	862	428	201	2,434
	送迎		76	867	862	428	201	2,434
	食事		76	867	862	428	201	2,434
	入浴		8	616	372	94	91	1,181
	機能訓練		0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成24年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター** 1日あたり定員 **25**名

利用者 年間稼働率 **69.7**% 男女比率 **2:08**

平均年齢 **85.1**歳（最高 **96**歳）（最低 **65**歳）

年間実施延日数 **308**日 年間利用者数 **5,369**名 一日平均利用者数 **17.4**名

【施設運営状況】

- 各関係機関と連携を取り、残存機能を活かし、在宅生活の継続に貢献していきましました。
- 職員育成によりサービスを向上させ、顧客満足に繋がりました。
- 地域のデイサービスの増加等、マイナス面への対応が追い付かず、稼働率が低下しました。
- レクリエーションに力を入れ、運営していきましました。季節に因んだ行事・ボランティアを活用した活動等、様々な物でした。

【利用者支援状況】

- 利用者の意思を尊重しながら、顧客満足に繋がりました。
- ボランティアや地域資源を活用し、多種多様なサービスを提供しました。
- 利用者ニーズを適切に踏まえた計画書に則り、援助を行いました。
- 介護技術の確認作業を適宜行い、適切な介護技術を持って、個々に適した援助を行いました。

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	102	112	118	116	126	99	110	96	85	75	80	60	1,179
女性	367	371	371	348	348	347	379	368	324	299	296	372	4,190
合計	469	483	489	464	474	446	489	464	409	374	376	432	5,369

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
22	介護	224	347	2,256	1,670	1,265	516	68	6,346
	送迎	445	604	4,471	3,000	2,521	1,025	136	12,202
	食事	224	347	2,256	1,670	1,265	516	68	6,346
	入浴	0	0	437	358	501	129	54	1,479
	機能訓練	0	0	143	38	108	0	0	289
23	介護	191	369	2,261	1,407	1,171	432	48	5,879
	送迎	310	546	4,474	2,462	2,334	861	96	11,083
	食事	191	369	2,257	1,405	1,170	432	48	5,872
	入浴	0	0	332	301	400	109	54	1,196
	機能訓練	0	0	91	13	87	42	0	233
24	介護	72	438	2,067	1,333	1,144	200	115	5,369
	送迎	144	876	4,134	2,666	2,288	400	230	10,738
	食事	72	438	2,067	1,333	1,144	200	115	5,369
	入浴	0	0	374	351	443	132	78	1,378
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成24年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 原町高齢者在宅サービスセンター 1日当たり定員 12名

利用者 年間稼働率 72.5% 男女比率 1対9

平均年齢 81歳（最高 93歳）（最低 68歳）

年間実施延日数 308日 年間利用者数 2,679名 一日平均利用者数 8.7名

【施設運営状況】

- 1 原町高齢者複合施設建設のため、若松町に移転して1年4ヶ月新しいエリアで運営しました。
- 2 サービスエリア変更により、地域との関係性の構築に時間がかかり、入所状況は昨年度に比べても減少しました。
- 3 去年度から引き続き東京女子医大から看護学生の実習生の受け入れを行い、地域看護学の実習を行いました。介護と看護、医療連携を学ぶカリキュラムの構築に協力しました。また東京都の認知症管理者研修の実習の受け入れも行いました。
- 4 エリア変更のため、大久保総合相談センター、若松町総合相談センター、新宿区役所高齢者総合相談センターと地域連携ケアを行うことが多くなり、高齢者虐待のケースなど連携して解決を協同して行うことができました。
- 5 職場内研修を定期的に行い、認知症の理解、対応、コミュニケーションの取り方、介護記録の取り方、接遇、コンプライアンス遵守について学習しました。

【利用者支援状況】

- 1 新宿区においては、独居認知症高齢者世帯、老老介護世帯、また軽い認知症の方が重い認知症の方の介護を行っている認知介護世帯が増加しています。地域連携を図り、多様な社会資源とつながり、在宅生活を支援しました。
- 2 医療と介護の連携を図り、医療的ニーズの高い利用者に対応するため、訪問看護、在宅訪問医療と、情報の共有、連携したサービスを実現しました。
- 3 認知症高齢者ケアのため、そのBPSD症状と中核症状の把握をし、認知症状をアルツハイマー型、脳血管性型、レビー小体型、前頭葉側頭型で特性を理解し、根拠あるケアを行いました。
- 4 送迎については、新宿区の地域性（バリアフリーでない場所が多い、坂が多い）を考慮し、安全、安心に行うようにし事故のない移動介助を行いました。
- 5 認知症高齢者の抱えるBPSDによる苦痛を職員が理解し、緩和するために、スウェーデン式認知症ケアを（ハプティックセラピー、ブンネ法など）取り入れました。

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	33	34	34	35	38	28	32	36	43	27	23	28	391
女性	210	213	216	202	189	169	187	198	176	180	174	174	2,288
合計	243	247	250	237	227	197	219	234	219	207	197	202	2,679

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
22	介護		213	365	1,603	568	1,538	4,287
	送迎		426	730	3,206	1,136	3,076	8,574
	食事		213	365	1,603	568	1,270	4,019
	入浴		213	365	1,093	568	1,538	3,777
	機能訓練		213	365	1,603	568	1,538	4,287
23	介護		149	203	1,221	605	1,221	3,399
	送迎		298	406	2,442	1,210	2,442	6,798
	食事		149	203	1,221	605	978	3,156
	入浴		149	203	1,003	605	1,221	3,181
	機能訓練		65	61	490	234	386	1,236
24	介護		127	209	637	579	1,127	2,679
	送迎		254	418	1,274	1,158	2,254	5,358
	食事		127	209	637	579	937	2,489
	入浴		127	209	601	579	937	2,453
	機能訓練		0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成24年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

1日あたり定員 12名

利用者 年間稼働率 62.7%

男女比率 1対4

平均年齢 78歳（最高 97歳）（最低 61歳）

年間実施延日数 307日 年間利用者数 2,309名 一日平均利用者数 7.5名

【施設運営状況】

- 1 東大和市と小平市に対して指定地域密着認知症対応型通所介護事業所の認定更新を行いました。
- 2 業務の標準化を充実するため、職務分掌の更新を行い職位職階に基づく役割分担を明確化しました。
- 3 東村山市社会福祉協議会及び東京都社会福祉協議会の外部研修へ積極的に参加して、デイサービス支援効果に基づく人材育成を図りました。
- 4 地域福祉の拠点施設として第4次東村山市地域福祉活動計画を推進するため、東村山市内4町会の「地域住民懇談会」に参加し地域住民のニーズ把握に努め施設資源の活用を図りました。
- 5 昨年度に引き続きグリーンカーテン（ゴーヤ）による省エネルギーの実施、事業継続計画書（BCP）の更新を行いました。

【利用者支援状況】

- 1 通所介護計画書に基づくいた先駆的なサービス手法の導入は、認知症の緩和及びリハビリテーションは要介護状態などの改善に繋がりました。
- 2 認知症利用者に適切なサービス提供を実践するため、施設内及び外部研修に参加して「認知症ケアパス」概念や成年後見制度の活用を推進しました。
- 3 認知症音楽活動「ブンネ法」及び認知症緩和ケア「ハプティックセラピー」の活用は、在宅生活を継続するために必要な生きがいのある生活に繋がりました。
- 4 根拠に基づくサービスを提供するため、高校生ボランティアに対する評価システムは、サービスの質の向上及び人材育成、関係機関との信頼関係が構築しました。
- 5 大学研究員による定期的な訪問指導は、認知症利用者に適した環境整備により安心・安全な利用空間への改善を図りました。

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	30	48	45	43	34	30	39	36	26	37	38	36	442
女性	156	155	132	137	160	161	176	146	146	163	154	181	1,867
合計	186	203	177	180	194	191	215	182	172	200	192	217	2,309

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
22	介護			344	316	1,316	603	230	2,809
	送迎			344	316	1,316	603	230	2,809
	食事			344	316	1,316	603	230	2,809
	入浴			103	99	678	315	20	1,215
	機能訓練			219	214	934	434	134	1,935
23	介護			434	408	948	594	144	2,528
	送迎			434	408	948	594	144	2,528
	食事			434	408	948	594	144	2,528
	入浴			120	109	301	410	160	1,100
	機能訓練			312	230	436	538	228	1,744
24	介護			547	529	525	590	118	2,309
	送迎			547	529	525	590	118	2,309
	食事			547	529	525	590	118	2,309
	入浴			297	245	126	382	110	1,160
	機能訓練			385	469	214	552	171	1,791

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成24年度 事業報告書（地域包括支援センター）

施設名 榎町高齢者総合相談センター

【施設運営状況】

- 1 昨年8月、交通の便が良い公共の施設（牛込保健センター）に移転し、来所相談件数が増えました。
- 2 地域のネットワーク作りも引き続き行っており、会議や連絡会への参加が前年度27件でしたが、今年度は69件と倍以上増加しました。
- 3 地域への普及啓発活動も活発に行い、介護保険制度の説明会や熱中症講座、認知症サポーター講座も前年は3回の開催でしたが、今年度は6回開催しました。（山吹町地域交流館・NPO法人・銀行等）
- 4 新宿区の申請窓口の業務は、介護認定の申請や介護老人福祉の申請が多くを占めますが、1,553件の申請受付を行い、前年より376件増加しました。
- 5 予防プランについては増え続けています。給付件数は前年度より619件増加の2,672件で、職員1名あたりひと月56件担当しました。（委託分含む）地域支援事業も前年比45件の増加でした。

【利用者支援状況】

- 1 権利擁護事業では、虐待の通報や区長申し立ての法定後見人の相談が増え、その対応に追われました。各機関と連携し、迅速に対応しました。
- 2 独居と高齢者世帯が半数を超える地域のため、孤立死防止のための意見交換会を行い、増加する安否確認の依頼対応のために独自のマニュアルを作成しました。
- 3 認知症連携担当者を置き、今後も増え続けていく認知症対策について、医療機関や各機関と連携しました。今後も認知症家族介護教室を継続して開催します。
- 4 医療連携担当者を配置し、各医療機関と居宅支援事業者との連携の橋渡しの役目を担い、今年度は大久保病院との交流会を企画開催しました。在宅リハビリも強化しそのコーディネートを行いました。
- 5 一昨年3月に起きた地震より、災害援護者名簿の見直しや防災対策についての再検討が行なわれています。災害発生時は地域の拠点となり、情報が集まる場所として各機関との連携を取り合います。

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成		
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業
					要支援1	要支援2	
平成22年度	189	2,106	277	459	1,054	856	99
平成23年度	242	6,697	652	1,316	1,092	940	77
平成24年度	158	6,776	289	1,133	1,331	1,320	122

年度	対象者年齢別内訳					
	～64	～74	～84	～94	95～	不明
平成22年度	88	495	1,236	798	48	0
平成23年度	164	196	1,264	1,168	126	0
平成24年度	142	530	1,623	1,135	101	0

※相談件数は重複あり

平成24年度 事業報告書（地域包括支援センター）

施設名 昭島市中部地域包括支援センター あいぽっく

【施設運営状況】

- 1 地域包括ケア体制を担う相談機関となるよう、積極的に民生委員・老人会・自治会と連携してネットワーク作りを行った。また介護事業所や民生委員を招いての地域連絡会を包括主催で開催し、地域のネットワーク作りに取り組みました。
- 2 昭島市の見守りネットワークの中心機関としての役割を果たすべく、民生委員や介護保険サービス事業所などとの連携構築に取り組みまし。また虐待対応機関として、マニュアルに沿いながら、早期発見、対応に取り組みました。
- 3 社会福祉士・主任ケアマネ・保健師の3職種のみならず、市役所・昭島市の3包括と定期的に会合を持ち、連携しながら、第5期昭島市介護保険事業計画に沿った計画実施に取り組みました。
- 4 生活機能の低下を予防するべく、適切なアセスメントを行うことをこころがけ、包括職員1人あたり、直営・委託を含め50件の介護予防プラン作成に関わっています。
- 5 機関誌として広報紙の発行、老人会での講座の開催などを定期的に行い、市民に向けての情報提供、地域包括支援センターの周知に積極的に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 高齢者の在宅生活の継続を支援していくために、積極的に各介護保険サービス事業所と連携を取り、きめ細かいサービス提供に努めると共に、地域のケアマネジャーが担当している困難事例の相談を受けるなどケアマネ支援にも積極的に取り組みました。
- 2 高齢者の総合相談窓口として、多様な相談に対応するために職員の研修派遣、あきしまネットワーク各部会への参加を積極的に行い、ワンストップで相談支援が行える体制づくりに取り組みました。
- 3 老人会や自治会などへ包括職員が定期的に赴き、各地域の高齢者の方々が必要としている情報提供を行うと共に介護予防の取り組みを行い、ネットワークを構築しました。
- 4 認知症の方々が地域で安心して生活して頂ける街づくりを目指し、認知症サポーター養成講座を銀行、小学校、老人会などで開催しました。また、介護している家族に対して家族介護者教室を開催し、介護技術・知識の向上を図りました。
- 5 ご利用者の相談に丁寧に耳を傾け、必要な方には自宅へ訪問し相談を受け対応しました。また老人会や自治会にも参加し積極的に地域のご利用者の声を拾うよう心掛けました。昭島市の取り組みである救急医療キットの配布にも積極的に取り組みました。

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成			対象者年齢別内訳					
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業	～64	～74	～84	～94	95～	不明
					要支援1	要支援2							
平成21年度													
平成22年度	66	3,264	2,863	593	765	1,154	0						
平成23年度	81	2,939	3,416	807	865	1,320	0						

※相談件数は重複あり

3 障害者支援系福祉サービスの経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 平成25年4月施行の障害者総合支援法移行へ向けて、制度改革の動向を見定めつつ、利用者本位のサービスを提供しました。また10月の障害者虐待防止法の施行に向けて、研修を実施し、より高い人権意識を養いました。
- 2 利用者の生活環境の整備として、さやま園の施設本体の大規模改修工事と園庭に個室棟を増築しました。これにより、利用者の生活の質の向上が図られ、また、男性の施設入所の受け入れが実現しました。
- 3 事業所ごとに、高い工賃配分を継続的に実現したり、障害に応じた専門的な支援プログラムを組むなど、地域生活の継続を希望する利用者のニーズに応えました。また、サービス等利用計画作成に向けて相談支援機関の調整も図りました。
- 4 通年して、定期的に新人職員研修を実施し、人材育成の基礎固めを行ったほか、虐待防止法等の専門性の高い研修も行い、職員のスキルアップに努めました。また、幹部候補者が各事業所で研修を行いました。
- 5 地域ごとの自立支援協議会に参加するなど、地域ネットワークに積極的に参加して、地域ニーズの情報交換を行いました。また、通所事業所と入所事業所が、利用者の緊急状態や相互のニーズに対応するなど、連携を図りました。
- 6 昭島市にGH／CHを立ち上げたほか、それぞれの事業所ごとに地域移行を模索しました。課題とされていた世話人の質の向上にも取り組み、グループホーム連絡会等で情報交換を行いました。
- 7 地域からの相談には、複雑なニーズや多様な障害が含まれており、本年はその件数が増加しました。特に発達障害の利用者に対しては、それに応じたシステムを導入したほか、職員個々のスキルアップを図りました。

1 障害者支援系施設

障害者自立支援法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行いました。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行いました。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図りました。

4 共同生活介護(ケアホーム)・共同生活援助(グループホーム)

障害のある方に生活の場を提供し、入浴・排泄または食事の介助、相談その他日常生活の援助を行い、自立した生活を営めるよう支援しました。

平成24年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	さやま園	施設入所支援	定員	96	名
		生活介護		81	名
		就労移行支援		15	名
		短期入所		4	名

利用者 年間稼働率	施設入所支援	93.2	%	平均障害程度区分	4.62
	生活介護	92.9	%		4.78
	就労移行支援	100.1	%		3.71
	短期入所	22.5	%		3.88

平均在所期間	20	年	(最長 48.4 年)	平均年齢	46	歳	(最高	69	歳)
							(最低	19	歳)

年間入所	7	名	主な入所理由	家庭生活の継続困難、介護者不在
年間退所	8	名	主な退所理由	グループホームの利用希望、単身生活

施設入所支援	年間実施延日数	365	日	年間利用者数	32,641	名	一日平均利用者数	89.4	名
生活介護	年間実施延日数	269	日	年間利用者数	20,241	名	一日平均利用者数	75.2	名
就労移行支援	年間実施延日数	269	日	年間利用者数	4,041	名	一日平均利用者数	15.0	名
短期入所	年間実施延日数	365	日	年間利用者数	328	名	一日平均利用者数	0.9	名

【施設運営状況】

- 概ね事業計画通りの施設運営となりました。収入の面では、男性利用者の入所に伴い、生活介護の稼働率がやや下がりましたが、予算運営の面でも大きな影響とはなりませんでした。
- 11月に南棟（個室棟）が竣工し、長期利用者を中心に個室利用の生活が始まりました。また、3月には都の補助金を得て、本棟の大規模修繕工事を実施、安全快適な暮らしを提供できるようになりました。
- 大規模修繕工事では全室をフローリングにし、ベッドを導入、バリアフリー化を図りました。個室または2人部屋となり、リハビリテーションプログラムの充実と合わせて、生活環境が整いました。
- 10月施行の虐待防止法に合わせて、専門家による研修会を開催し、虐待の原因と対策について学習したほか、他の事業所見学なども実施し、実践研修としました。研修全般のフィードバックが今後の課題です。
- 本年度も地域支援ネットワークや福祉サービス検討会等へ参加し、地域のニーズに応えました。また、昨年に引き続き被災地復興支援にも職員を派遣し、協力しました。障害者雇用は現在4名の方に就労していただいています。

【利用者支援状況】

- 利用者の「夢や希望」を具体的に個別支援計画に落とし込み、その実現と挑戦を支援の中心としました。さまざまなアイデアが生まれ、利用者満足度の高い支援となりました。
- PTと連携し、リハビリテーションを体系化した専門チームとして取り組みました。身体の可動域が増え、柔軟性を得たことにより介護度が減ったほか、結果として毎年数名いた骨折者がでませんでした。
- 注意、変更、制限に偏りがちだった支援を、本来の褒める、認める、支援に意識改革した結果、園全体に活気があふれました。相乗効果により職員の満足度も高まりました。
- 男性利用者の入所を進めました。最重度の行動障害など、現在の当園では十分に支援できないケースもありましたが、地域性や社会的責任などの基準を設定し、随時利用を開始しています。

【施設整備状況】 (単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
個室棟増設工事	50,000	屋根裏換気設備	1,942
トイレバリアフリー	9,000	タッチディスプレイ	971
屋根裏換気設備	1,500		
タッチディスプレイ	900		
システム更新	2,900		
購入等合計	64,300	購入等合計	2,913
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
個室棟増設工事	50,000	厨房前道路整備	1,853
大規模改修工事	10,000	トイレバリアフリー	6,825
機械浴器	6,500		
購入等合計	66,500	購入等合計	8,678
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
個室棟増設工事	50,000	個室棟ベッド	3,346
大規模改修工事	10,000	カーテン	1,575
個室棟初度備品	10,000	個室棟厨房	3,310
厨房前道路整備	2,000	個室棟増設	150,412
		境界部フェンス	968
購入等合計	72,000	購入等合計	159,611
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
大規模改修工事	10,000	本棟ベッド	3,937
境界部フェンス	2,500	機械浴器	7,865
		大規模修繕	91,091
		システム更新	2,253
購入等合計	12,500	購入等合計	105,146

年間利用状況（各月月初人員数） 施設入所支援のみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	5	29
女性	93	93	93	93	93	93	93	93	92	91	90	89	1,106
合計	95	95	95	95	95	95	95	95	94	93	94	94	1,135

利用者状況推移（各年度3月1日現在） 施設入所支援のみ

年度	実人員	年齢別内訳								
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	55～
平成22年度	99	1	22	13	4	6	4	2	7	40
平成23年度	92	1	15	13	6	5	5	3	4	40
平成24年度	94	1	13	12	5	7	6	4	4	42

平成24年度 事業報告書（障害福祉サービス事業）

施設名	小茂根福祉園 生活介護		定員	40名		
	就労継続支援B			30名		
利用者	年間稼働率	生活介護	80.2%	平均障害程度区分	5	
		就労継続支援B	87.3%			
	平均在所期間	10.6年	(最長 29年)	平均年齢	32.1歳	
				(最高 61歳)	(最低 19歳)	
年間入所	2名	主な入所理由	特別支援学校卒業後の進路			
年間退所	4名	主な退所理由	転居、死亡			
生活介護	年間実施延日数	245日	年間利用者数	7,860名	一日平均利用者数	32.1名
就労継続支援B	年間実施延日数	245日	年間利用者数	6,415名	一日平均利用者数	26.2名

【施設運営状況】

- 1 板橋区の福祉施策に則り、適正な運営に努めました。入所者については、区で利用調整を行っていますが、民間施設が増えたことにより、横ばい傾向にあります。
- 2 常に他の区立福祉園と連携し、質の高いサービスを目指し、区立福祉園のあり方を検討しました。また、防災マニュアルの見直しや事業継続計画の作成を行い、日頃の訓練に反映させました。
- 3 就労継続支援B型利用者の就労意欲の向上と工賃アップを目指し、清掃作業の導入を次年度から図るべく準備を進めました。
- 4 ブランド化した自主生産品が、企業連携により商品化されたり、企業の機関紙などで取り上げられたりする機会が増えました。また、地域のバザーや祭の他、地域会議への参画を通して地域と協働する機会を増やしました。
- 5 研修を受けた職員によるOJTを定期的を実施することにより、発表内容の質が向上し、職員同士が互いに刺激を受けることにつながりました。

【利用者支援状況】

- 1 アセスメントとモニタリングを重視し、個別支援計画が実際に支援の中で反映されているかを検証し、支援の充実を図りました。
- 2 就労継続支援と生活介護サービスが協働して、商品開発を進め、自主生産活動による工賃アップの底上げを図りました。
- 3 本人活動など様々な場面において、利用者同士の話し合いや、利用者自身の意見を引き出すことを重視し、自ら期待と希望を持って活動ができるよう支援しました。
- 4 昨年度に引き続き、利用者による高齢者施設などでのボランティア活動や街頭募金活動を通じて、社会で必要とされ、人の役に立てる喜びを実感できるよう支援しました。
- 5 心理相談や栄養相談などの相談窓口を増設、家族同士のサークル活動の場の奨励により、家族からの相談や意見が出やすくなりました。また、日常的にボランティアを活用し、風通しの良い施設作りを行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
給湯ボイラー更新	1,800	給湯ボイラー更新	1,806
空調設備改修	4,514	空調設備改修	4,252
2階トイレ改修	580	2階トイレ改修	483
購入等合計	6,894	購入等合計	6,541
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
非常灯改修	790	非常灯改修	787
購入等合計	790	購入等合計	787
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		窓ガラス飛散防止フィルム	892
購入等合計	0	購入等合計	892
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
和室改修	500	空調設備改修	600
		エレベーター改修	1,428
		通用口ドア改修	892
購入等合計	500	購入等合計	2,920

年間利用状況（月間延人員） 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	437	421	443	469	453	421	492	463	392	400	411	428	5,230
女性	223	238	231	212	228	212	246	229	211	200	202	198	2,630
合計	660	659	674	681	681	633	738	692	603	600	613	626	7,860

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	35	7	9	6	6	6	1	0	0
平成23年度	38	3	14	5	8	6	2	0	0
平成24年度	36	1	14	5	8	3	5	0	0

年間利用状況（月間延人員） 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	296	286	302	287	293	273	310	302	259	253	263	285	3,409
女性	260	269	271	248	232	234	277	266	239	230	224	256	3,006
合計	556	555	573	535	525	507	587	568	498	483	487	541	6,415

利用者状況推移（各年度3月1日現在） 就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	29	0	10	1	4	0	4	5	5
平成23年度	30	3	9	1	2	1	4	4	6
平成24年度	30	1	9	4	2	0	1	6	7

平成24年度 事業報告書（障害福祉サービス事業）

施設名	立川福祉作業所	生活介護	通所定員	30	名
		就労継続支援B		35	名
		就労移行支援		10	名

利用者	年間稼働率	生活介護	75.8	%	平均障害程度区分	3
		就労継続支援B	93.5	%		
		就労移行支援	95.7	%		

平均通所期間	15	年	（最長	43	年）	平均年齢	35	歳	（最高	60	歳）	（最低	18	歳）
--------	----	---	-----	----	----	------	----	---	-----	----	----	-----	----	----

年間入所	3	名	主な入所理由	特別支援学校卒業の進路
年間退所	4	名	主な退所理由	就職1名 施設移管2名 在宅1名

生活介護	年間実施延日数	269	日	年間利用者数	6,118	名	一日平均利用者数	22.7	名
就労継続支援B	年間実施延日数	269	日	年間利用者数	8,799	名	一日平均利用者数	32.7	名
就労移行支援	年間実施延日数	269	日	年間利用者数	2,575	名	一日平均利用者数	9.6	名

【施設運営状況】

- 3事業の特性を活かし、介護給付費・訓練給付費・また各種補助金・加算など状況を把握しながら定員・日数の弾力運営を行い多くの利用者を受け入れ安定した運営ができました。
- 第三者評価も7年連続受審を行い利用者・家族調査においても高い評価いただき職場風土についても優れていると評価をされ、職員も励みとなりました。
- 地域で自立した生活が実現できるように、東京都昭島市に定員6名のケアホーム・グループホーム1棟（結オハナ）を開所いたしました。
- 受注作業、製パン共に新規企業の開拓も積極的に取り組みんだ3社増えた結果、前年度の利用者平均工賃をうわまることになりました。
- 自立支援協議会、地域の自治会及び近隣の商店会などに参加し、地域の関連機関と連携し地域福祉の向上に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 利用者の個別的な対応として地元施設への移管2名等ご家族・関係各機関と連携調整を図ることでスムーズな移行を進めることができました。
- 就労支援においては、今年度は1名の就職決定および定着支援においても積極的に取り組み支援することが出来ました。
- 製パン・受注作業においても新規開拓も行い前年度より高い工賃を支払うことで利用者の活躍する場や意欲の向上に繋がりました。
- 特別支援学校や地域の障害者の実習を積極的に受け入れ見学者も年間215名来所され多摩地域全般の相談支援が強く求められました。
- 余暇支援の充実を図り前年度に引き続きエアロビク検定に6名が合格し利用者の励みとクラブ活動の参加増員に繋がりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
パソコンシステム更新	600 2,200		
購入等合計	2,800	購入等合計	1,258
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
第2オハナ開設	9,224	第2オハナ開設	12,231
購入等合計	9,224	購入等合計	464
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
基本設計料	7,000		
購入等合計	7,000	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
基本設計料（報酬料含む）		基本設計料（報酬料含む）	5,775
		システム更新	1,900
購入等合計	0	購入等合計	7,675

年間利用状況（月間延人員） 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
女性	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	153
合計	31	31	31	31	31	31	31	31	31	30	30	30	369

利用者状況推移（各年度3月1日現在） 生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	0								
平成23年度	31	0	3	2	0	4	5	3	14
平成24年度	30	0	3	2	0	4	4	3	14

年間利用状況（月間延人員） 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
女性	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
合計	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	432

利用者状況推移（各年度3月1日現在） 就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	0								
平成23年度	33	0	13	2	6	6	1	3	2
平成24年度	36	3	12	3	5	7	1	2	3

年間利用状況（月間延人員） 就労移行支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
女性	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34
合計	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	130

利用者状況推移（各年度3月1日現在） 就労移行支援

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	0								
平成23年度	11	4	6	0	1	0	0	0	0
平成24年度	10	1	8	1	0	0	0	0	0

平成24年度 事業報告書（障害福祉サービス事業）

施設名	東村山生活実習所		生活介護	通所定員	30	名			
			就労継続支援B		10	名			
			短期入所		2	名			
利用者	年間稼働率	生活介護	90.8	%	平均障害程度区分	5.2			
		就労継続支援B	113.4	%		0			
		短期入所	36.8	%		4.8			
				平均年齢	37.3	歳	(最高	63	歳)
平均通所期間		4.5	年	(最長	7	年)	(最低	19	歳)
年間入所	1	名	主な入所理由	他施設からの異動					
年間退所	0	名	主な退所理由						
生活介護	年間実施延日数	245	日	年間利用者数	6,678	名	一日平均利用者数	27.3	名
就労継続支援B	年間実施延日数	245	日	年間利用者数	2,778	名	一日平均利用者数	11.3	名
短期入所	年間実施延日数	365	日	年間利用者数	269	名	一日平均利用者数	0.7	名

【施設運営状況】

- 1 障害者総合支援法など新たな福祉制度が施行され、国の給付費制度、東京都の補助金制度などの状況を常に把握しながら、事業の安定運営に努めてきました。
- 2 生活介護事業、就労継続支援事業とも定員に対して、常に1～3名ほどの利用者確保に努めた結果、全体的な稼働率は、前年をわずかにこえることができ、利用料などの収入も安定して得られました。短期入所についても、施設全体の収支をみながら運営をした結果、稼働率のアップがはかられました。
- 3 新施設での事業をスタートし、2年が過ぎました。職務分担に基づき、各職員が施設の運営に責任を持ちながら携わってきました。職員の一人ひとりの事業に対する関わりも少しずつ明確になった一年でした。
- 4 地域の福祉団体、行政サービスなどに関わりながら、ケース会議等を行い、必要なサービスのネットワークを構築しながら、利用者に対するサービスの向上（生活に対する不安の解消や医療的な援助など）につなげることができました。
- 5 新任職員、中堅職員、上級職員とそれぞれの育成に必要な課題等をしめしながら、又、各職員とも意識しながら業務に携わってきました。少しずつですが、職員として必要な知識、技能などステップアップしてきています。

【利用者支援状況】

- 1 障害者虐待防止法の施行に伴い、新たに福祉に携わる者としての意識改革に必要な研修等を行い、利用者のサービスの向上に役立ててきました。
- 2 地震対策に関しては、従来の訓練に加え、BCPなど施設として必要な災害対策について体制作り等に着手した一年であった。また、感染症、施設内での事故に対する防止等必要な手立てを考えながら、利用者の安全に努めました。
- 3 障害の重度化、多様化に対して、生活介護、就労継続支援事業の利用者とも各自に必要な援助技術を職員は身につけながら、支援にあたりました。
- 4 就労継続支援事業については、販売ルートの拡充、生産力のアップ等が図られ、利用者のお店に対する思いと相まって、利用者主体の営業が図られてきました。工賃に関しても少しずつアップしているところです。
- 5 短期入所事業は、緊急に利用したいというニーズも少しずつ出始め対応してきました。また、宿泊まではしなくても、夜8時頃まで利用したいという延長利用のニーズもあり、それについても対応してきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	1,600		
購入等合計	1,600	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
食堂壁等の腰壁シート貼り等	593	食堂壁等の腰壁シート貼り等	787
購入等合計	593	購入等合計	787
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	1,225
購入等合計	0	購入等合計	1,225

年間利用状況（月間延人員）生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	336	350	342	349	361	309	366	344	319	307	300	316	3,999
女性	226	239	223	236	257	204	249	241	217	143	211	233	2,679
合計	562	589	565	585	618	513	615	585	536	450	511	549	6,678

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	30	0	4	2	2	8	4	6	4
平成23年度	31	1	3	5	2	6	6	5	3
平成24年度	31	2	3	5	2	5	4	6	4

年間利用状況（月間延人員）就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	66	69	67	71	78	67	77	70	65	52	66	72	820
女性	172	177	171	169	167	152	172	174	155	143	147	159	1,958
合計	238	246	238	240	245	219	249	244	220	195	213	231	2,778

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	9	1	0	1	1	2	0	1	3
平成23年度	12	2	0	2	1	2	1	1	3
平成24年度	13	1	2	2	1	1	2	1	3

平成24年度 事業報告書（心身障害者福祉ホーム）

施設名 **さくらんぼ**

事業名	年齢	在so期間
長期自立支援事業	平均 44.6 歳	平均 140.4 日
	最高 51 歳	最長 228 日
	最低 34 歳	最短 99 日

利用実人員 5 名

年間延人員 702 名

男女比率 2 対 3

事業名	年齢	在so期間
短期間の自立支援事業	平均 36 歳	平均 2.4 日
	最高 64 歳	最長 4 日
	最低 20 歳	最短 1 日

利用実人員 81 名

年間延人員 893 名

男女比率 1.5 対 1

事業名	年齢	在so期間
緊急一時保護事業	平均 36 歳	平均 2 日
	最高 64 歳	最長 3 日
	最低 21 歳	最短 1 日

利用実人員 57 名

年間延人員 228 名

男女比率 1.4 対 1

事業名	年齢	在so期間
レスパイト	平均 39 歳	平均 16.6 日
	最高 66 歳	最長 196 日
	最低 20 歳	最短 1 日

利用実人員 37 名

年間延人員 613 名

男女比率 1 対 1.2

事業名	年齢
移動支援事業	平均 47.4 歳
	最高 72 歳
	最低 21 歳

利用実人員 27 名

年間延人員 157 名

男女比率 1 対 2.4

全体 年間実施延日数 365 日 年間利用者数 3,474 名 一日平均利用者数 6.8 名

【施設運営状況】

- 1 緊急一時保護の利用者の個別の事情を考慮し、豊島区と協議し柔軟な対応を図りました。新規登録者も倍増し、利用のコーディネートや多様化する障害に対応しました。
- 2 豊島区自立支援協議会、虐待対応会議に参加し、豊島区と協働し、障害者施策の推進を図りました。さくらんぼ利用については、その都度区と協議し対応しました。
- 3 障害者虐待防止法施行に伴い、研修参加や、職場内での研修実施により、法を理解し、職場全体で支援を振り返り、支援技術の向上を図りました。
- 4 短期利用の受付が変更に伴い、面談時に情報提供し、マニュアルの整備により、利用される方にわかりやすい情報提供を工夫しました。
- 5 長期利用者のグループホーム移行を進めました。アフターケアでのつながりや、移動支援事業など制度活用を進め、グループホームへ移行する利用者、家族の不安を軽減しました。

【利用者支援状況】

- 1 長期3名が地域移行されました。それにより新たに長期利用者2名地域移行者1名を受け入れており、本人状況の把握、家族関係の調整、通所先との調整をしていきました。月2回の話し合いを利用者と行い意見を聞き、共同生活について一緒に考えています。
- 2 家族の入院等での緊急利用が増えています。その都度関係機関と連携を行い、様々な緊急のケースも必要に応じて受け入れてきました。今後も緊急利用者の長期化が課題であり区と調整が必要です。
- 3 新規登録者が増え新たに短期利用をする人が増えてきました。みなが平等に利用できるよう毎月調整を行ってきました。個別支援計画の書式を新たに変更し、支援ポイントを明確にしていきました。
- 4 さくらんぼから地域生活へ移行した人達への行事も定着しています。利用者の意見を反映させた日帰り旅行は好評でした。またさくらんぼまつりでも多くの利用者の他地域の人、ボランティアも参加しました。
- 5 医療的な対応が必要な利用者は、医師の指示書をもらい安心して過ごせるよう対応してきました。重度の利用者も含め、ご家族や通所先の連携を密に行ってきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
システム更新	1,800		
購入等合計	1,800	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
浴室リフト工事	区予算	3F洗濯場修繕	288
購入等合計	区予算	購入等合計	288
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
3F洗濯場修繕	850		
購入等合計	850	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		浴室リフト工事	区予算
		システム更新	1700
購入等合計	0	購入等合計	1,700

利用者状況推移(各年度延人数)

年度	利用人員							
	親なき後対策		緊急一時保護		短期自立訓練		レスパイト	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成22年度	2	517	31	488	71	566	42	160
平成23年度	4	933	33	509	78	918	43	201
平成24年度	5	702	37	613	81	893	57	228

上記年齢別

年度	年齢別内訳						
	～19	～29	～39	～49	～59	～64	65～
平成22年度	1	26	29	22	7	5	2
平成23年度	0	33	25	27	7	5	0
平成24年度	0	33	26	28	10	6	1

平成24年度 事業報告書（身体障害者福祉センター）

施設名 **さいわい福祉センター**

	事業名	平均 年齢	年齢		男女比	
			最高	最低	男	女
自立支援 事業	地域活動支援センター	20.5	21	20	1	1
	就労移行・生活介護	25	32	20	1.7	1
	身体機能回復訓練	37.1	68	18	1.4	1
介護支援 事業	都型ショートステ事業	28	55	13	1.2	1
	日中一時支援	15	55	3	1.3	1
	入浴サービス	36.1	55	22	1.4	1
居宅生活 支援事業	移動支援・同行援護	51	85	8	1	1.4
	居宅介護字事業	54	64	40	2	1

障害者地域自立生活支援事業

相談内容	件数	利用者内訳	実人数
相談事業（生活支援）	49	身体障害	26
相談事業（サービスの利用支援）	79	知的障害	139
就労支援事業（就労支援）	645	その他	17
就労支援事業（生活支援）	103		
計	876	計	182

全体 年間実施延日数 **365** 日 年間利用者数 **9,933** 名 一日平均利用者数 **27.2** 名

【施設運営状況】

- 1 障害者のニーズに応えられるよう特定相談支援事業を受諾し、東久留米市障害福祉課とともに制度改定に迅速に対応しました。また、十分に市と協議し経費の効率的な執行にも努めました。
- 2 市内の事業所や市の要請に応え、自立支援協議会などの各種会議等に参加し、センターの事業運営から見てきた地域生活支援の状況や課題等について情報提供をしました。自立支援協議会の事務局を受任しました。
- 3 震災対策として、市主催の地域防災訓練への参加・防災備品及び施設内環境の整備・行動マニュアルの再考などに取り組みました。特に、職員の危機管理意識を高めるよう訓練や研修に力を入れました。
- 4 職員の腰痛予防や感染症対策について、腰痛体操や研修を実施しました。腰痛防止については、介護負担の軽減に効果的な機器の使用を検討し、今後も緊急の課題として引き続き取り組みます。
- 5 人材育成では、法人内の基幹職員の人事交流や福祉人材の育成として養成校の実習を多数受け入れ、相互の学びの機会となりました。虐待防止法の研修やセンター内研修を実施し、スキルアップを図りました。

【利用者支援状況】

- 1 医療ケア対象者のニーズが高くなり、利用形態について嘱託医及ご家族と十分協議し、利用できるように個別に対応しました。また、紫外線防止フィルム等を設置し次年度の受け入れ体制を整えました。
- 2 虐待が疑われるケースや養育困難な家庭への支援も増加し、必要に応じて関係機関と支援会議を行い、地域連携による支援を実施しました。緊急一時保護等を有効に活用し、できる限り利用を受け入れてきました。
- 3 特定相談支援事業を開始し、「サービス等利用計画書」の作成に取り組み、当年度の市の数値目標を達成しました。他事業所と諸様式などの情報交換を行い、円滑な利用促進につなげました。
- 4 就労支援は、地域の職場体験実習先の開拓に向けて、商工会や市内企業への受け入れの要請に出向き、理解を得られるように取り組みました。また、市庁舎内実習を試行的に行いました。
- 5 居宅支援事業については、ヘルパーのほか職員も必要に応じて支援に入り、個々のニーズに応えるサービス提供を行いました。ヘルパーの確保が大きな課題としてあります。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	1,600		
非常用自家発電	500		
購入等合計	2,100	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
点字ブロック	600		
購入等合計	600	購入等合計	597
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		汚物除去機	735
		システム更新	1,559
購入等合計	0	購入等合計	2,294

利用者状況推移（各年度延人員）

年度	自立支援事業				介護支援事業			
	知的訓練		身障機能		ショート・緊急		入浴	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成22年度	9	2,036	19	482	61	1,923	11	340
平成23年度	7	1,614	18	333	95	1,923	11	334
平成24年度	4	803	14	319	87	2,179	10	405

年度	居宅生活支援事業				育成事業			
	生活介護/就労移行		ヘルパー		グループ育成		講座・講習	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成22年度	13	2,294	26	1,203	139	1,494	78	951
平成23年度	12	2,139	28	1,377	111	1,407	86	975
平成24年度	9	2,258	24	1,049	94	1,259	101	1,023

平成24年度 事業報告書（共同生活介護・共同生活援助事業）

施設名 **アミニティ富士見** 定員 **41** 名

利用者 年間稼働率 **99.9** %

年間実施延日数 **365** 日 年間利用者数 **14,955** 名 一日平均利用者数 **41** 名

【施設運営状況】

- 1 新規のグループホーム・ケアホームの建設は、候補の物件が複数ありましたが、他の事業所との競合などで、実効性のある計画には至りませんでした。
- 2 グループホーム・ケアホームの支援内容を分析、細分化し、支援員、世話人、調理員などの役割りを明確化しました。結果として、支援の質の確保ができました。
- 3 東京都のグループホーム連絡会などの研修会に参加し、障害の基礎知識や法制度について学習しました。また、さやま園での世話人会議等においても、同様の研修を行いました。
- 4 各ホームごとに、地域との避難連絡網を確認し、ホームの状況に合わせた避難の形を検討しました。災害時の緊急連絡体制は年2回程度見直しを図っています。
- 5 現在の委託形態を再評価し、今後の経営につなげるようにと検討しましたが、安全面や継続性という点からも、早急に運営形態の検討を実施したいと考えています。

【利用者支援状況】

- 1 6月にグループホーム交流会を実施し、利用者、支援者が一堂に会し、親交を深めました。他のホームの状況やメンバーを知ることができて、有意義な時間でした。
- 2 就労支援センターや地域生活支援事業所、地域作業所などと連携し、利用者がそれぞれ抱える課題をケースごとに検討し、地域生活の継続につなげました。
- 3 利用者それぞれのニーズを拾い、自己実現を支援しました。特に一人暮らしを希望している方への支援は、説明と体験を繰り返し、結果として、利用者が納得いくことを目的としました。
- 4 各ホームごとに工夫を凝らし、旅行や外出を楽しみました。利用者主体の計画は、どこもユニークなもので、大変好評でした。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	28	0	1	8	5	3	3	4	4
平成23年度	41	0	4	9	6	5	5	6	6
平成24年度	41	0	3	11	5	4	5	6	7

平成24年度 事業報告書（共同生活介護・共同生活援助事業）

施設名 **レゾンス巣鴨** 定員 **12**名

利用者 年間稼働率 **100** %

年間実施延日数 **365** 日 年間利用者数 **4,380** 名 一日平均利用者数 **12** 名

【施設運営状況】

- 1 サービス管理責任者の定期的な訪問や、世話人会を開催し、世話人の役割分担の見直し、利用者支援の共有を図りました。
- 2 新規入居者には、ホームの生活に慣れるよう、職員が訪問し、他の利用者たちとの食事会、外出等を企画し、交流を図りました。
- 3 虐待防止法の施行に伴い、世話人が研修に参加し、世話人会での意見交換等を実施しました。世話人、生活支援員が権利擁護の意識を持って、支援にあたるよう、人材育成を図りました。
- 4 年2回の防災訓練を実施し、グループホームでの災害時にどのように対応するか利用者、世話人がともに動けるよう、継続して実施していきます。

【利用者支援状況】

- 1 利用者一人一人が安心して生き生きと生活が送れるよう、個別支援の充実を図りました。バックアップ施設の職員が定期的に訪問し、個々の要望を聞き取り、世話人と協力してその実現に努めました。
- 2 利用者の高齢化に伴い、定期通院の付き添いや投薬の管理、栄養バランスなど健康管理の重要性が増してきています。ご家族の高齢化も進み、代理での行政手続や後見人との連絡調整が多くなってきています。
- 3 地域の活動や行事の情報提供を行い、希望に応じ参加できるよう余暇活動の支援を行いました。バックアップ施設の企画による旅行やグループホーム利用者合同の外出も実施しました。
- 4 通所先や就労先、病院などとも連携を図り、トータルな支援を行いました。ご家族とはここの連絡のみならず、家族会を開き、情報の公開と共有に努めました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	12					2	2	1	7
平成23年度	11					1	3		7
平成24年度	12				1	1		3	7

平成24年度 事業報告書（共同生活介護・共同生活援助事業）

施設名 **夢オハナ** 定員 **12**名

利用者 年間稼働率 **100** %

年間実施延日数 **365** 日 年間利用者数 **3,834** 名 一日平均利用者数 **12** 名

【施設運営状況】

- 1 夢オハナユニット増として結オハナ（定員6名）新規開設いたしました。バックアップ施設と連携をし個別支援計画の作成など取り組み安定した運営が出来ました。
- 2 新規開設にあたり世話人の新規採用もありましたが、適切な配置を行いながら日々の生活や利用者サービスの向上に努めました。
- 3 今年度も夜間の宿直体制を行うことで利用者のご家族への安心・安全の確保に取り組みました。
- 4 就労支援として企業の担当者と世話人と連絡を密にとりながら支援内容を確認しながら定着支援に力を注ぐことが出来ました。
- 5 災害時の緊急対応をバックアップ施設として防火管理者を新たに配置して備蓄装備や役割分担の確認を行いながら取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者が健康に生活が送れるように心身の状態を世話人と連携を密にとることで体調を崩すことなく通勤や通所することが出来た。
- 2 利用者の生活基盤を中心に安全・安心して生活が送れるように通勤や通院など様々な支援を世話人とバックアップ施設が連携・協働しながら行うことが出来ました。
- 3 利用者の生活向上の一環として余暇活動にも力を入れて宿泊旅行・映画鑑賞やクラブ活動の参加など連携し職員派遣などを含め相互理解を深め取り組みました。
- 4 利用者の主体性を尊重しながら豊かな生活が送れるように休日の過ごし方・職場など色々な相談を受けながら世話人と連携することで信頼関係を深め取り組みました。
- 5 利用者の諸費用やお小遣い等に関しては、本人の要望を聞きながら適正に執行されていることをご本人・ご家庭・世話人・支援員を確認を取りながら信頼関係を深めながら行いました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成22年度	5		2	2					1
平成23年度	6		2	2			1		1
平成24年度	12		6	3	1		1		1

4 児童・女性支援系福祉サービスの経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 サンライズ武蔵野（むさしの保育園と合築）が無事に竣工を迎え、新しい環境の中で順調に施設運営がスタートしました。
- 2 新しい分野の事業として、昭島市より児童厚生施設（児童センター）、放課後児童健全育成事業（学童クラブ）を受託し、児童に地域で安全に過ごせる場を提供し、遊びや学習等を通して子どもの健全育成を図りました。
- 3 双葉園は平成24年5月より「昭島市子どもトワイライトステイ事業」を受託し、施設の機能を活かして地域の子育て支援に取り組みました。
- 4 福祉サービス研究発表会では、児童・女性支援系グループとして協力し合いながら、3期6年にわたって、アタッチメントの視点に立った精神的ケアを実践した成果を、『孤』から『個』へをテーマに沿って、最終のまとめとして発表しました。
- 5 第三者評価を受審し、より一層の利用者サービスの向上に努め、公正で信頼される施設運営を行ないました。
- 6 利用者サービスの質の向上に向け、グループ合同研修として「接遇マナー研修」・「メンタルヘルス研修」・「ハラスメント研修」を行いました。また、グループ内施設交流研修とグループ外（障害者支援系）施設交流研修を行ない、他施設のノウハウを学ぶことで職員の対応力の向上を図りました。
- 7 サンライズ山中は、平成24年6月末をもって施設閉鎖され、開設以来72年の歴史に幕を下ろしました。関係機関と十分に連携をとり、利用者がスムーズに退所することができました。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援しました。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援しました。

3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行いました。

4 児童厚生施設・放課後児童健全育成事業

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営しました。
また、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後等に児童センターを利用して、学童クラブを運営し健全な育成を図りました。

平成24年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名 **サンライズ武蔵野**

定員

10世帯

利用者 年間稼働率 **98.4%**

平均在所期間 **1.4** 年 （最長 **3.6** 年）

年間入所 **4** 世帯 **13** 名

年間退所 **4** 世帯 **13** 名

主な退所先 **都営住宅、区営住宅、民間アパート**

入所

年間実施延日数

365 日

年間利用者数

3,593 名

一日平均利用者数

9.8 名

【施設運営状況】

- 1 年間の入退所は4世帯ずつで、定員のほぼ半数が入れ替わりました。稼働率も98.4%と、平成23年10月に10世帯定員となってからの稼働率98%とほぼ同じでした。
- 2 平成22年度より行って来た施設改築工事が2月に竣工して集会室や学習室等が完成し、備品配置を行って使用を開始しました。平成25年度から開始される緊急一時保護事業、相談事業の準備を行いました。
- 3 第三者評価受審は、施設改築第2期工事完了後に訪問調査を受けました。評価結果から得られた課題の改善に取り組みました。第三者評価課題へ取り組み状況、財務状況について、利用者へ公開しました。
- 4 恒例の地域交流行事であるバザーを実施しました。また、杉並区要保護児童等対策地域協議会、和田青少年育成委員会への参加、町会との合同防災訓練を通して、地域の方々と交流を図りました。
- 5 法人内、グループ内、全母協、東社協部会、関係機関主催の研修等に積極的に参加し、職員の資質の向上と利用者支援向上に努めました。施設内研修は、新規事業立ち上げのため、他法人施設へ研修に行きました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者とともに検討した自立支援計画に基づき、優先すべき課題に対し、利用期間を踏まえて、各利用者の段階に合った支援を行いました。
- 2 利用者アンケートから要望のあったパソコン講習を実施しました。講習を通し、利用者同士、職員と利用者のコミュニケーションをはかることができました。
- 3 兄妹世帯の入所があり、各種手続き等への支援を重点的に行いました。また未就園児の補助保育を行ったことにより、就労の継続ができ、25年度の保育園入園につながりました。
- 4 学童には、個別面談での内容から個別支援計画表を作成し、個々の課題を明確にして対応することが出来ました。また、受験生には個別で学習ボランティアによる学習支援を行い、希望する高校へ合格することが出来ました。
- 5 改築中のため限られた共用スペースを、学習時間には集会室を空けてもらうなどして皆で融通し合いながら場所を使うことが出来ました。それにより集団による協調性を育む事が出来ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	2,100	改築工事費	39,911
購入等合計	2,100	購入等合計	39,911
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		利用者居室カーテン	590
購入等合計	0	購入等合計	590
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
改築工事費	107,395	改築工事費	81,727
		システム更新	1,500
購入等合計	107,395	購入等合計	83,227

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	10	9	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	118
児童数	19	17	19	18	20	20	20	20	20	19	19	17	228
合計	29	26	29	27	30	30	30	30	30	29	29	27	346

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人数	世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
平成22年度	2	5	7	5	8	13	7	20
平成23年度	2	4	6	8	15	23	10	29
平成24年度	3	6	9	7	13	20	10	29

平成24年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ青山		定員	20	世帯
			短期・緊急一時	1	世帯
利用者 年間稼働率	95.8%	入所	95.8%		
		短期・緊急一時	63.3%		
年間入所	6	世帯	12	名	平均在所期間 2.2 年（最長 9 年）
年間退所	6	世帯	13	名	
				主な退所先	都営住宅、民間アパート
入所	年間実施延日数	365	日	年間利用者数	6,990 名
短期・緊急一時	年間実施延日数	365	日	年間利用者数	231 名
				一日平均利用者数	19.2 名
				一日平均利用者数	0.6 名

【施設運営状況】

- 1 転落防止格子設置やシャワーユニット交換等の各所修繕を行い、安心・安全が実感できるよう生活環境改善に向けて施設内整備を行いました。
- 2 地域自立生活退所6世帯12名で年間稼働率は95.8%でした。DV被害や被虐待児等の課題を抱えた世帯を積極席に受け入れ、広域利用(他区3)を推進し、緊急一時保護(248日稼働率67.9%)等、利用率向上に取り組みました。
職員事務所の修繕、第三者評価を受審や外部講師を招いた施設内研修等も行い、職員に気づきと業務改善を奨励し、健康でやりがいのある職場環境の整備と職員の資質向上に取り組みました。
- 4 地域交流行事や地元町会との防火夜回り等を行うとともに、場所提供等の施設機能を随時提供し、施設理解と地域見守り体制の強化に努めました。
- 5 区・学校・保育園・教育センター・病院・警察・社協・協力企業・町会等との日常的な連絡や連携を行い、相互理解による地域ネットワーク体制構築に積極的に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の自立支援計画をもとに、地域生活移行に向けて就労・子育て・家事・地域資源活用等、個々のニーズに応じた支援に取り組み、利用者の自立につなげました。
- 2 利用者個別の状況に応じて、相談室での心理相談員による心理療法と併せて生活場面面接による個々へのアプローチを積極的に行い、利用者の精神的安定に繋がる支援をしました。
- 3 母子の安定と生活の潤いが育むよう、親子遠足や花見会、リフレッシュ保育、学童キャンプや雪滑り体験、クリスマス会等の季節行事や地域交流夏祭り等を企画実施し、親子で楽しめる機会を多く取り入れた支援をしました。
- 4 関係諸機関や利用者に関係する社会資源の場と日常的に連携し、情報提供、相談助言、関係調整等を行い、利用者一人ひとりの状態に即した支援をしました。
- 5 退所世帯への家庭訪問や電話相談・助言等のアフターケアを実施し、退所後数年経過の世帯からの進学相談や養育相談等も継続して取り組み、地域生活定着支援を行い社会資源の一翼を担う取り組みをしました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
転落防止用窓格子工事	1,200		
階段転落防止格子工事	1,000		
システム更新	1,600		
購入等合計	3,800	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
事務所環境改善工事	1,500	転落防止用窓格子工事	735
児童室間仕切他工事	700	階段転落防止格子工事	709
購入等合計	3,500	購入等合計	1,831
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
廊下エアコン購入	1000	シャワーユニット交換	900
購入等合計	1,300	購入等合計	900
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		事務所環境改善工事	1,478
		児童室間仕切他工事	2,227
		利用者居室修繕	1,088
		システム更新	1,550
購入等合計	300	購入等合計	6,343

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	19	19	19	19	19	19	20	20	20	18	19	19	230
児童数	22	22	22	22	22	22	23	23	23	20	21	20	262
合計	41	41	41	41	41	41	43	43	43	38	40	39	492

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人数	世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
平成22年度	8	9	17	11	12	23	19	40
平成23年度	9	10	19	11	13	24	20	43
平成24年度	5	5	10	13	15	28	18	38

平成24年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名 **サンライズ万世** 定員 **20** 世帯
短期・緊急一時 **2** 世帯

利用者 年間稼働率 **94.7** % 入所 **94.7** %
短期・緊急一時 **9.7** %

年間入所 **14** 世帯 **34** 名 平均在所期間 **0.7** 年 （最長 **3.7** 年）
年間退所 **13** 世帯 **38** 名 主な退所先 **都営住宅、民間アパート、自宅**

入所 年間実施延日数 **365** 日 年間利用者数 **6,915** 名 一日平均利用者数 **18.9** 名
短期・緊急一時 年間実施延日数 **365** 日 年間利用者数 **71** 名 一日平均利用者数 **0.2** 名

【施設運営状況】

- 1 年間を通して14世帯（34名）の入所があり、13世帯（38名）が都営住宅等へ退所されました。年間稼働率94.7%（前年度95.6%）短期・緊急一時の稼働率は9.7%（前年度21.0%）でした。
- 2 最低基準の改正により、常勤の母子支援員を1名増員して利用者支援を行なうことができ、今まで以上に手厚く利用者サービスに取り組むことができました。
- 3 第三者評価を受診し職員の新たな気づきと資質向上に努め、利用者サービス及び施設運営に活かしました。
- 4 地域との関わりでは、昭和郷の各施設と連携して利用者の就労等について、協力を得て成果を上げることができました。
- 5 職員一人ひとりの専門性の向上とスキルアップを目指して、人材育成の一環として積極的に研修会へ参加しました。

【利用者支援状況】

- 1 関係機関（特に保育園・小学校・中学校）と密に連携して、日常的な支援の向上に務めました。
- 2 母親の就労や通学支援として、早朝、緊急、病（後）児保育等の要望を積極的に受け入れました。
- 3 児童が健全に育つように年齢別に外出行事を企画したり、児童の要望を取り入れて昼食作りやおやつ作りを多く行いました。
- 4 心理相談員が毎日勤務していることにより、日常生活場面で常にサポートができて心身の安定が図れるよう、心理的ケアの支援を重視しました。
- 5 大学生のボランティア（学習・ピアノ）や実習生を多く受け入れたことにより、子ども達との交流の場が増えて、お互いに良い刺激になりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
事務所床改修	930	事務所床改修	998
事務所テーブル	600	事務所机一式	590
サーバー更新	870	支援システムサーバー	753
システム更新	2,100		
購入等合計	4,500	購入等合計	2,341
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
プロジェクター	450	プロジェクター	442
購入等合計	450	購入等合計	442
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	474
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	1,823
購入等合計	0	購入等合計	1,823

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	20	19	17	17	19	19	19	20	19	20	20	20	229
児童数	41	38	33	34	35	35	36	38	35	36	36	36	433
合計	61	57	50	51	54	54	55	58	54	56	56	56	662

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人数	世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
平成22年度	11	20	31	9	16	25	20	56
平成23年度	10	20	30	9	19	28	19	58
平成24年度	14	25	39	6	11	17	20	56

平成24年度 事業報告書（児童養護施設）

施設名	双葉園
施設名	高嶋の家
施設名	くすのき

定員	38名
定員	6名
定員	6名

昭島市子どもワイルドステイ事業 2名

年間延利用者数 44名

本園	年間稼働率	98.5%
高嶋の家	年間稼働率	100.0%
くすのき	年間稼働率	100.0%

本年・GH合算稼働率 98.9%

平均年齢 9.8歳（最高 17歳）
（最低 2歳）

男女比率 13:12

年間入所	5名	主な入所理由	措置変更 虐待
年間退所	5名	主な退所理由	家庭復帰 就労自立

双葉園	年間実施延日数	365日	年間利用者数	13,668名	一日平均利用者数	37.4名
高嶋の家	年間実施延日数	365日	年間利用者数	2,190名	一日平均利用者数	6名
くすのき	年間実施延日数	365日	年間利用者数	2,190名	一日平均利用者数	6名

【施設運営状況】

- 1 年度途中で2名の退職者が出て、その後の人材の確保が新規採用時期までずれこんでしまい、自立支援コーディネーターの配置が1年遅れとなってしまいました。
- 2 地域小規模施設「くすのき」は、開設後1年以上が経過し、地域の方々との理解も得て特段のトラブルもなく順調に運営できました。地域サークルに参加する児童も増え、地域の保護者の方々との交流も深まってきました。
- 3 5月から昭島市より受託した子どもワイルドステイ事業も徐々に地域の皆様に浸透し、少しずつ利用も増えてきています。今後も、引き続き地域の子育て支援の一助となるよう積極的に取り組んでいきます。
- 4 25年度からの専門機能強化施設の申請に向けて準備を進めてきましたが、医師の確保の目途が立たず先送りとなってしまいました。引き続き児童の治療的ケアのスキルアップを目標に導入に向けて体制を整えていきます。
- 5 今年度も法人や児童部会の階層別研修に、個人別育成計画や園の研修計画に沿って、職員を参加させてきました。また福祉サービス研究発表会に向けプロジェクト委員会を中心に取り組み、大きな成果を上げることができました。

【利用者支援状況】

- 1 今年度はケース検討会を定期的に行い、チームケアの必要性について理解を深めることが出来ました。同時に検討会の進め方についても講師を呼んで研修し、今後は自主的に開催できるよう学習しました。
- 2 今年度も立川児童相談所の職員と児童の自立支援計画に基づいて情報交換会を開催し、施設と児相が連携して入所から卒園、家庭復帰まで一貫して支援していく体制を確認しました。
- 3 福祉サービス研究会に向けた取り組みの成果やアタッチメントを中心に据えた支援を図り、職員と子どもたちの信頼関係を構築し子どもの安全基地としての職員となれるよう取り組んできました。
- 4 今年度は「子どもの権利ノート」が改訂され、東京都の権利擁護の担当職員が施設を訪れて、子どもたちに直接、子どもたちに権利ノートについて説明しました。自治会においても権利ノートについて学びました。
- 5 幼児グループでの小規模グループケア、二つの地域小規模施設においては、本体施設では味わうことのできない家庭的な雰囲気を活かして、職員と子どもたちがゆったりとした環境で生活を楽しむことが出来ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
システム更新	1,600		
購入等合計	1,600	購入等合計	1,883
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
サーバー	1,260	サーバー	1,260
購入等合計	1,260	購入等合計	1,260
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	1,883
購入等合計	2,860	購入等合計	3,143

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
女児	24	22	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	284
合計	50	48	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	596

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	学年別内訳				
		幼児	小学生	中学生	高校生	その他
平成22年度	46	10	22	6	7	
平成23年度	50	8	29	8	4	1
平成24年度	50	8	26	10	5	1

平成24年度 事業報告書（婦人保護施設）

施設名	いこいの家	定員	40名
利用者 年間稼働率	74.7%	本入所のみ稼働率	84.3%
本入所 平均年齢	42歳	（最高 63歳） （最低 23歳）	平均在所期間 2年 （最長 12年）
年間入所	16名	主な入所理由	居所なし
年間退所	13名	主な退所理由	アパート転宅、他施設移管（グループホーム、ケアホーム等）
緊急のみ稼働率	45.8%		
緊急 平均年齢	35歳	（最高 82歳） （最低 20歳）	同伴児者平均年齢 4歳 （最高 12歳） （最低 0歳）
年間利用者数	51名	主な入所理由	夫の暴力
		主な退所理由	アパート転宅、他施設移管（母子生活支援施設、宿所提供施設等）
年間実施延日数	365日	年間利用者数	10,908名
		一日平均利用者数	29.9名

【施設運営状況】

- 1 根拠法である売春防止法に関する動きとして、6月に婦人保護事業等の課題に対する検討会が立ち上がり、12月に終了、厚生労働省に報告をしました。知的障害を持つ方の利用が多く、とくに年度後半は本入所が増えました。
- 2 一時保護を利用する学齢児のために学習室を整備しました。一時保護を利用する子どもたちのために各職種が連携して一人ひとりのニーズに応えられるよう、安全、安心と心のケアに努めました。
- 3 第三者評価を受審し、利用者、職員の声を聞き、また評価結果をもとに事業の見直しを図りました。また法人、外部、グループ、施設内などあらゆる機会を通して職員の研修を行い、専門性を高めてサービスの向上に努めました。
- 4 利用者へのチームケアを行うこと、また個別の育成計画に基づき、それぞれの役割を明確にすることで職員の意識改革を行い、人材育成に努めました。
- 5 昭和郷の行事また作業としてのエコショップを開くことで地域のみなさんとの交流を行うことができました。障害者サービス、職業センター、市の社会福祉協議会、障害福祉課などと連携をして支援の充実を図りました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者一人ひとりについての課題をご本人を中心に職員間でも共有し、それぞれに目標をもって生活ができるようにしました。様々な資源、機会を通して自己肯定感を持ち、自信を持って生活再建ができるよう支援しました。
- 2 一時保護を利用する学齢児への支援について、学習室を設けるなどのハード面での改善を行いました。今後は学習のあり方などソフト面の充実を図ります。また心のケアについては心理士を中心に生活の中で行いました。
- 3 一人ひとりの支援をより充実したものにする為に、ハード面ではトイレ、洗面所の整備を行い生活の質を高めました。また各職種が連携して協働し、チームケアを充実することで支援の質を高めました。
- 4 心理士2名を引き続き配置、本入所、一時保護、アフターケア利用者を対象に、面接、さまざまな療法などで精神的ケアを行いました。またケース会議のスーパーバイザー、職員へのアドバイスなどで支援の充実を図りました。
- 5 退所者自立生活援助事業、アフターケアでは、高齢や病気などの利用者のために、地域の福祉事務所と連携し、また地域の関係機関との連携を図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
サーバー入れ替え	1,514	サーバー入替	1,155
ラウンジ間仕切り	1,370		
食堂内棚工事	750		
システム更新	1,400		
購入等合計	4,600	購入等合計	1,155
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
3階洗面所トイレ内変更工事	2,420	3階図書室洗い場工事	1,695
3階指導員室洗い場取り付け工事	1,880	3階洗面所・トイレ内装工事	2,262
書類棚（7台）	1,072		
購入等合計	6,886	購入等合計	3,957
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
ラウンジ床仕上	1,050		
ラウンジ間仕切り	1,370		
購入等合計	1,808	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		書庫・テーブル他	734
		システム更新	1,207
購入等合計	0	購入等合計	1,941

年間利用状況（各月月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本入所	23	24	23	23	25	25	25	25	28	27	27	27	302
緊急一時	1	8	1	2	4	7	6	1	8	4	5	5	52
合計	24	32	24	25	29	32	31	26	36	31	32	32	354

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	65～
平成22年度	21	6	1	4	4	1	3	2	0
平成23年度	23	6	2	5	6	0	3	1	0
平成24年度	27	8	3	9	2	1	1	3	0

平成24年度 事業報告書（児童厚生施設・放課後児童健全育成事業）

施設名 昭島市児童センター・つつじが丘北学童クラブ

定員 児童センター

50

 名
学童クラブ

50

 名

登録人数

50

 名

【施設運営状況】

- 1 児童センターの年間開館日数は331日で利用者数は65,942名、日平均来館者は199.2名でした。学童クラブの育成日数は270日で、出席児童数は7,469名でした。
- 2 法人の新事業として、昭島市との連携を強化しながら、新しい行事の企画や既存の行事に新たな試みを加えるなどし、利用者サービスの向上に努めました。
- 3 利用者区分ごとの利用者アンケートを実施しました。アンケート結果から得られた課題の改善に取り組み、利用者の意見や施設からの回答は利用者へ公開しました。
- 4 地域ボランティアの方々のご協力やご指導を頂きながら、様々な行事や講習会を実施しました。また、「Nゲージ」が昭島市青少年フェスティバルに参加しました。
- 5 法人内・施設内・グループ内及び関係団体の各種研修に参加して、職員の資質向上に取り組みました。施設内においては交流研修を行い、児童館と学童クラブの協力体制を整えました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者が安心・安全に遊べる空間や環境作り、遊具や周辺機器の定期的な点検と消毒を徹底し楽しめる場を提供しました。
- 2 学童クラブにおいては、児童が健全に育つよう、基本的生活習慣の更なる獲得や、季節の行事・おたのしみを充実させ児童の育成支援を行いました。
- 3 各行政機関や保育所・地域の小・中・高校と随時情報交換をし、児童館に来館する児童や学童クラブに在籍している児童の支援向上に役立てました。
- 4 児童センター運営委員会では、各関係機関の担当者や地域住民の方々に対して児童センターの運営状況を報告しました。利用状況など施設の課題や改善点について、今後のサービスに活かすよう取り組みました。
- 5 学童クラブにおける障害児の受け入れは、安心して安定した生活が送れるよう関係機関との連絡・調整をはかりました。また、職員については専門性を高める研修にも参加しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		システム更新	1,187
購入等合計	0	購入等合計	1,187

年間利用状況（延利用者数）

昭島市児童センターぱれっと

時間帯	未就学		小学生		中学生		高校生		見学者	合計
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者		
午前	9,159	8,343	2,916	348	774	13	673	2	1,214	23,442
午後	7,214	5,938	17,022	917	4,451	46	2,424	30	318	38,360
夜間	257	206	48	30	525	1	2,819	5	249	4,140
合計	16,630	14,487	19,986	1,295	5,750	60	5,916	37	1,781	65,942

年間内訳		
児童	保護者	見学者
13,522	8,706	1,214
31,111	6,931	318
3,649	242	249
48,282	15,879	1,781

年間利用状況（延利用者数）

昭島市つつじが丘北学童クラブ

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男児	1,170	995	836	44	3,045
女児	1,239	1,424	1,142	94	3,899
合計	2,409	2,419	1,978	138	6,944

	育成日数	出席児童数	在籍児童数	1日あたり出席児童数
平日	226	6,944	9,810	31
土曜日	44	170	1,903	4
合計	270	7,114	11,713	35

5 医療事業の経営

医療保護施設・医療施設

医療を必要とする要保護者に指定医療機関として、適切な医療の給付を行うとともに、地域の方々に対して安全な医療を提供しました。

施設名 昭島病院 病床数 199 床

【経営状況】

- 1 入院は、1日平均患者数154人（前年度対比：-7人）、入院診療収益として、22,620千円減（前年度対比：1.7%ダウン）となりました。
- 2 外来は、外来1日平均患者数497人（前年度対比：-42人）、外来診療収益として、48,743千円減（前年度対比：11.3%ダウン）となりました。
- 3 入院の1日当たり平均単価は、32,505円となり前年度対比で+1,264円となりました。外来の1日当たり平均単価は、6,686円となり前年度対比で+269円となりました。

【診療状況】

- 1 病床利用率は、77.1%となり前年度対比で、-3.9%となりました。
- 2 平均在院日数は、17.7日（前年度対比：±0日）となりました。
- 3 救急車受入台数は、1,303台（109台/月）となり、前年度対比で-108台（-9台/月）となりました。
- 4 手術件数は、509件（42件/月）となり、前年度対比で+47件（+3/月）となりました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
ベッドシステム更新	3,700 500	輸液ポンプ0T-808	872
購入等合計	4,200	購入等合計	872
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
オーダーリングシステム	71,000	電動式ハンドピース セントラルモニタDS-7740	2,573 1,598
購入等合計	71,000	購入等合計	4,171
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
自動錠剤包装機	5,880	CLIOS-ERオーダーリングシステム 自動錠剤包装機 ラパロスコープ	79,958 5,733 508
購入等合計	5,880	購入等合計	86,199
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
臨床化学自動分析装置	1,575	ベッド メディカルシーラー システム更新	3,714 935 1,054
購入等合計	1,575	購入等合計	5,703

患者数実績

年度	1日あたりの平均患者数	
	外来	入院
平成22年度	555	163
平成23年度	539	161
平成24年度	497	154

減免内訳

区分		件数	金額
入院	実人数	生活保護	148
		健保・国保	15
		無	0
		計	163
	延人数	生活保護	3,399
外来		健保・国保	299
		無	0
		計	3,698
	延人数	生活保護	0
		健保・国保	0
その他		無	0
		計	0
		生活保護	0
		健保・国保	0
		無	0
合計		3,698	3,198,893

平成24年度 事業報告書

施設名 **昭島病院訪問看護ステーション**

1日平均利用者数 **13.00** 名 男女比率 **4** 対 **6**

平均年齢 **81.0** 歳 (最高 **101** 歳 最低 **63** 歳)

介護保険延人数	79 名
医療保険延人数	17 名
計	96 名

【施設運営状況】

1 医療処置の訪問回数増が収益に繋がりました。

2 電気自転車使用を増やし、経費削減に努めました。

3 家族会は、多数参加して頂き、好評でした。

【利用者支援状況】

1 介護保険の利用者数が月平均8名、医療保険の利用者数が月平均1名増えました。

2 介護保険の訪問回数が月平均33回、医療保険の訪問回数が月平均6回増えました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
			0
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
			0
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
			0
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
			0
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(月間延訪問者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	21	21	22	24	23	22	20	21	23	21	20	18	256
女性	39	45	48	51	48	50	54	54	48	48	47	46	578
合計	60	66	70	75	71	72	74	75	71	69	67	64	834

6 収益事業の経営

平成24年度 事業報告書

1 オフセット・活版印刷事業

施設名 **事業局**

【経営状況】

- 1 対前年比109%の増収を達成しました。300万円を本部へ繰入しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
車輜	2,500	車輜	2,500
購入等合計	2,500	購入等合計	2,500
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

2 駐車場その他不動産に関する事業経営

下記の事業を行い、690万円を本部へ繰入しました。

【経営状況】

- 1 富士見町駐車場
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場として経営を行いました。
- 2 原町ホーム土地賃貸業
原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与しました。
- 3 昭島病院駐車場
昭島病院の東側敷地を活用し、時間貸しの駐車場として経営を行いました。

三 職員福利厚生制度

本年度の職員福利厚生事業は下記のように実施しました。

1 永年勤続者表彰

10 年勤続者 9 名 20 年勤続者 7 名 30 年勤続者 8 名

定年退職者表彰（定年退職前勤続 10 年以上の職員対象）

9 名

2 人間ドック健診助成の実施

40 歳、50 歳 受診 21 名 60 歳 受診 1 名

婦人科検診助成の実施（35 歳以上の女性職員対象）

乳がん検診 受診 348 名 子宮がん検診 受診 286 名

3 福利厚生センター事業の利用

ソウエルクラブ 年間加入 776 名

4 職員メンタルヘルスケアへの取り組み

EPA（従業員支援プログラム） 21 年 7 月～

職員ならびに家族（同居）、休職者・復帰者への支援カウンセリングの実施

相談件数 42 件 利用者延数 24 名

5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営 昭島市中神町 1260

定員 15 名 保育時間 7 時～21 時

0 歳（生後 2 カ月）から小学校就学前までの職員の児童を預かり保育

月極保育利用 年間延べ 180 名

一時保育利用 年間延べ 7 名

四 理事会及び評議員会

定款の定めにより、下記の理事会、評議員会を開催しました。

1 理事会

ア 第1回 平成24年5月23日 於：新宿NSビル 3階E室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、品川卓正、木村美子
(書面出席者：多久島耕治、殿塚典彦) 8名

欠席者：志茂威

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長

議 事：平成23年度事業報告、平成23年度決算報告、定款一部変更(さいわい福祉センター他)、運営規程制定(さいわい福祉センター特定相談支援事業)、運営規程一部改正(フジ・デイサービスセンター他)、評議員選任、母子生活支援施設サンライズ山中の廃止時期の変更

イ 第2回 平成24年5月30日 於：原町ホーム 会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、品川卓正、木村美子
(書面出席者：多久島耕治、殿塚典彦) 8名

欠席者：志茂威

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

議 事：理事長互選、常務理事指名、理事長並びに常務理事の役員報酬、監事の役員報酬、理事長職務の代理指名、昭島病院担当理事の委嘱

ウ 第3回 平成24年8月29日 於：原町ホーム 会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、木村美子

(書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、品川卓正) 8名

監事：五十嵐力平 1名

欠席監事：鈴木道生 1名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

議 事：万世敬老園食堂棟耐震補強工事の契約方法等

エ 第4回 平成24年9月19日 於：原町ホーム 会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、木村美子
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、品川卓正）8名
監事：五十嵐力平 1名
欠席者監事：鈴木道生 1名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
議 事：さやま園大規模修繕工事の契約方法等

才 第5回 平成24年9月28日 於：原町ホーム 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、木村美子
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、品川卓正）8名
監事：五十嵐力平 1名
欠席者監事：鈴木道生 1名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
議 事：万世敬老園食堂棟耐震補強工事の契約方法等（再）

カ 第6回 平成24年10月24日 於：スクワール麴町 5階会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、
品川卓正、殿塚典彦、木村美子 9名
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
議 事：平成24年度第1次補正予算、就業規則一部改正、臨時職員就業規則一
部改正、運営規程一部改正（夢オハナ）、サンライズ武蔵野・むさしの
保育園改築工事・昭和郷第二保育園改築工事及び（仮称）原町高齢者
複合施設建築工事の進捗状況

キ 第7回 平成24年11月14日 於：原町ホーム 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、木村美子
（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓
正）9名
監事：五十嵐力平 1名
欠席監事：鈴木道生 1名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
議 事：さやま園大規模修繕工事の入札結果及び契約

ク 第8回 平成24年11月21日 於：原町ホーム 会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、木村美子

（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正）9名

監事：五十嵐力平 1名

欠席監事：鈴木道生 1名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

議 事：保有している国債の買換

ケ 第9回 平成24年11月28日 於：原町ホーム 会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、殿塚典彦、木村美子

（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正）9名

監事：五十嵐力平 1名

欠席監事：鈴木道生 1名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

議 事：万世敬老園食堂棟耐震補強工事の入札結果及び契約

コ 第10回 平成25年2月13日 於：スクワール麴町 5階会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、殿塚典彦、木村美子 9名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

長沼昭島病院事務長

議 事：平成24年度第2次補正予算、定款一部変更（小規模多機能型居宅介護、基本財産追加）、組織規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、経理規程一部改正、運営規程制定（原町グループホーム・原町小規模多機能居宅介護センター・原町デイサービスセンター）、管理規程一部改正（サンライズ武蔵野・むさしの保育園・昭和郷第二保育園）、施設長人事、平成24年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、竣工状況（サンライズ武蔵野・むさしの保育園・昭和郷第二保育園・さやま園増築棟・原町高齢者複合施設）、大山保育園・立川福祉作業所改築工事設計競技

サ 第11回 平成25年3月27日 於：原町高齢者複合施設 会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、木村美子、（書面出席者：多久島耕治、殿塚典彦）9名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

長沼昭島病院事務長

議 事：平成 25 年度事業計画、平成 25 年度予算、経理規程一部改正、基本財産処分（サンライズ山中・大山保育園建物）定款一部変更（サンライズ武蔵野・むさしの保育園・昭和郷第二保育園・原町高齢者複合施設の基本財産）、専決規程一部改正、再雇用職員就業規則一部改正、昭島病院再雇用職員就業規則一部改正、事業局再雇用職員就業規則一部改正、給与規程一部改正、昭島病院給与規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、昭島病院臨時職員就業規則一部改正、運営規程一部改正、評議員選任、施設長人事

※ 理事及び監事一覧（任期：平成 26 年 5 月 29 日まで）

理事長	牧野 洋一	常務理事	菅原 眞廣	理 事	多久島耕治
理 事	橋本 泰子	理 事	原山 陽一	理 事	志茂威(8/21 退)
理 事	森谷順蔵(10/24 就)	理 事	品川 卓正	理 事	殿塚 典彦
理 事	木村 美子	監 事	鈴木 道生	監 事	五十嵐力平

2 評議員会

ア 第1回 平成24年5月23日 於：新宿NSビル 3階E室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、田中紀久子、六本木尚、南山徳英、水谷貞子、神田祐一、牧野洋一、菅原眞廣 19名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長

議 事：平成23年度事業報告、平成23年度決算報告、定款一部変更（さいわい福祉センター他）理事・監事選任、平成23年度第10回理事会議決事項

イ 第2回 平成24年10月24日 於：スクワール麴町 5階会議室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、戸塚洋子、田中紀久子、六本木尚、南山徳英、

水谷貞子、神田祐一、牧野洋一、菅原眞廣 17名

監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

欠席者：堀茂、岡橋生幸 2名

議 事：平成24年度第1次補正予算、理事補充、平成24年度第1～5回理事会議決事項、サンライズ武蔵野・むさしの保育園改築工事・昭和郷第二保育園改築工事及び（仮称）原町高齢者複合施設建築工事の進捗状況

ウ 第3回 平成25年2月13日 於：スクワール麴町 5階会議室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、田中紀久子、六本木尚、南山徳英、水谷貞子、神田祐一、牧野洋一、菅原眞廣 19名

監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長

議 事：平成24年度第2次補正予算、定款一部変更（小規模多機能型居宅介護・

基本財産追加)、平成 24 年度第 6～9 回理事会議決事項、平成 24 年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、竣工状況(サンライズ武蔵野・むさしの保育園・昭和郷第二保育園・さやま園増築棟・原町高齢者複合施設)

エ 第 4 回 平成 25 年 3 月 27 日 於：原町高齢者複合施設 会議室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、小林順吾、本山美八郎、田中幸子、川向良和、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、六本木尚、南山徳英、水谷貞子、神田祐一、牧野洋一、菅原眞廣 17 名

監事：鈴木道生 五十嵐力平 2 名

その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

長沼昭島病院事務長

欠席者：飯山幸雄、田中紀久子 2 名

議 事：平成 25 年度事業計画、平成 25 年度予算、基本財産処分(サンライズ山中・大山保育園建物)、定款一部変更(サンライズ武蔵野・むさしの保育園・昭和郷第二保育園・原町高齢者複合施設の基本財産)、理事選任、平成 24 年度第 10 回理事会議決事項

※ 評議員一覧(任期：平成 26 年 5 月 29 日まで)

坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	小林 順吾	本山美八郎
田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄	比留間由真	堀 茂
岡橋 生幸	戸塚 洋子	田中紀久子	六本木 尚	南山 徳英
水谷 貞子	神田 祐一	牧野 洋一	菅原 眞廣	

五 施設長会議及び各種委員会

1 施設長会議

原則として、毎月第一水曜日に、事務局からの報告、連絡及び提案等の協議を行うための施設長会を開催しました。

ア 4月 平成24年4月4日（水） 於：スクワール麹町 5階 寿の間

評議会・理事会（24.3.28）決定事項の報告

新施設長紹介、各種委員会・施設長会議の運営について

23年度2月分月次実績報告

各種委員会・各グループ報告

イ 5月 平成24年5月16日（水） 於：新宿区産業会館 3階 研修室A

23年度3月分月次実績報告

24年度新卒採用関係日程について

各種委員会・各グループ報告

ウ 6月 平成24年6月6日（水） 於：新宿 NSビル NS会議室 31

評議会・理事会（24.5.23）決定事項の報告

23年度決算報告、決算主要増減内容説明（対前年度比）

23年度施設利用状況報告、23年度職員配置状況報告

財務システム更新進捗状況について

震災発生時のBCP計画について

各種委員会・各グループ報告

エ 7月 平成24年7月4日（水） 於：新宿 NSビル NS会議室 31

4・5月分事業活動収支ほか、状況報告（概算）

新卒採用応募状況について

新財務システム（承認、決裁）について

就業管理システムバージョンアップについて

新しい在留管理制度について

各種委員会・各グループ報告

オ 9月 平成24年9月5日（水） 於：新宿 NSビル NS会議室 31

理事会（24.8.29）決定事項の報告

7月分月次実績報告

平成24年度第1次補正予算書の提出及び作成上の留意点について

新財務システムについて、永年勤続者表彰式について
改築状況について、結核菌患者発症について
各種委員会・各グループ報告

カ 10月 平成24年10月3日（水） 於：新宿NSビル NS会議室 31
理事会（24.9.19）決定事項の報告
8月分月次実績報告
新財務システムについて、25年4月採用内定状況について
各種委員会・各グループ報告

キ 11月 平成24年11月7日（水） 於：新宿NSビル NS会議室 31
評議会・理事会（24.10.24）決定事項の報告
9月分月次実績報告
冬季賞与の支給について
各種委員会・各グループ報告

ク 12月 平成24年12月5日（水） 於：新宿区産業会館 3階 研修室A
10月分月次実績報告
平成24年度第2次補正予算書の提出及び作成上の留意点について
管理職試験について、新卒採用内定状況について
改築状況について
各種委員会・各グループ報告

ケ 2月 平成25年1月11日（水） 於：京王プラザホテル南館 3階
グレースルーム
11月分月次実績報告
施設長、副施設長、課長、主任及び副主任設置基準について
非常勤職員の定年について
各種委員会・各グループ報告

コ 3月 平成25年3月6日（水） 於：新宿NSビル NS会議室 31
評議会・理事会（25.2.13）決定事項の報告
1月分月次実績報告
辞令交付の日程について
各種委員会・各グループ報告

2 各種委員会

平成 24 年度事業計画の定めにより、下記の委員会を設け業務を遂行しました。

(1) 総合企画委員会

委員：○山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄
 木村 美子 南山 徳英 神田 祐一 水谷 貞子
 林 美枝 長者 政孝 原田 浩二 池田 康子
 小林 一江 長沼 君夫

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議しました。総合企画会委員会については法人の重要事項について議論し、理事長へ意見を進達する機関としました。また他の委員会の所掌事務について必要な進行管理等を行いました。

ア 第1回 平成 24 年 4 月 4 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 各種委員会、施設長会の運営、年間計画について
- ・ 2 月分事業実績について
- ・ 企画部指導検査担当人事について
- ・ 児童センターぱれっとについて

イ 第2回 平成 24 年 5 月 16 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 3 月分事業実績について
- ・ 後援会について
- ・ 24 年度採用計画について
- ・ 立川グループホーム開設について
- ・ 児童センターぱれっと管理者変更について

ウ 第3回 平成 24 年 6 月 6 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 23 年度決算報告
- ・ 夏季賞与の支給について
- ・ 財務システム更新進捗状況について
- ・ 震災想定に基づく行動計画について

エ 第4回 平成 24 年 7 月 4 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 4～5 月分事業実績について（概算）
- ・ 職員採用進捗状況について
- ・ 新財務システムの電子承認について
- ・ 就業管理システムのバージョンアップについて
- ・ 外国人登録制度の変更について

オ 第5回 平成 24 年 9 月 5 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 7 月分事業実績について
- ・ 24 年度第 1 次補正予算について
- ・ 改築状況について
- ・ 永年勤続者表彰式について

カ 第6回 平成 24 年 10 月 3 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 8 月分事業実績について
- ・ 規定改正について
- ・ 新財務システムの電子承認について
- ・ 職員採用試験の状況について
- ・ 災害時対策本部体制について

キ 第7回 平成 24 年 11 月 7 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 9 月分事業実績について
- ・ 新規採用状況、人事関係日程について
- ・ 冬季賞与の支給について

ク 第8回 平成 24 年 12 月 5 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 10 月分事業実績について
- ・ 24 年度第 2 次補正予算について
- ・ 管理職試験の結果について
- ・ 職員採用内定状況について

ケ 第9回 平成 25 年 3 月 6 日（水） 於：原町ホーム 1 階 集会室

- ・ 1 月分事業実績について
- ・ 規定改正について
- ・ 辞令交付の日程について

(2) 人事委員会

委員：○菅原 眞廣 山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄

職員の懲戒等について検討しました。

(3) 規程整備委員会

委員：○中島 昭 山川 浩一

佐々木 末廣 神田 祐一 相原 幸仁 水谷 貞子

山中 誠一 木村 美子 上林 唱子 南山 徳英

田口 道子 長沼 君夫

法人の組織、人事、給与、及びその他諸制度に関する規程について検討し整備しました。

ア 第1回 平成24年4月23日 於：原町ホーム1階集会室

- ・平成24年度規程整備委員会の活動計画について
- ・平成23年度人事考課の総括と23年度の考課の課題について
- ・年休・夏休・時間休取得について
- ・今後の課題について

イ 第2回 平成24年5月28日 於：ぱれっと会議室

- ・管理職選考のあり方について
各グループ検討結果の報告
- ・主任、副主任等の設置基準について

ウ 第3回 平成24年6月27日 於：同援さくら保育園会議室

- ・管理職選考のあり方について
管理職養成課程の概要
養成研修終了後の任用審査基準について
管理職候補者養成研修の内容について
- ・主任・副主任のあり方について

エ 第4回 平成24年7月25日 於：立川福祉作業所会議室

- ・管理職選考のあり方について
管理職養成課程の概要

養成研修終了後の任用審査基準について
管理職候補者養成研修の内容について
・就業規則の一部改正について（半日休暇の廃止⇒時間休 40 時間）
（結オハナ見学）

オ 第 5 回 平成 24 年 9 月 27 日 於：原町ホーム集会室
・管理職選考のあり方について
管理職試験実施要綱（案）について
管理職試験実施細目について
管理職試験活性化のための副施設長等の処遇改善策について
・就業規則及び臨時職員就業規則の一部改正について
・労働契約法の改正について
無期労働契約への転換
非常勤職員への定年制の導入

カ 第 6 回 平成 24 年 10 月 25 日 於：いこいの家
・主任・副主任等の配置基準（案）について
・非常勤職員の定年制について
労働契約法改正（無期労働契約への転換）への対応
・再雇用制度の見直しについて
給与規程 別表第 6 「職種別給料表」の見直し等

キ 第 7 回 平成 24 年 11 月 29 日 於：原町ホーム集会室
・主任・副主任等の配置基準（案）について
・保育園の休日勤務手当及び夜勤手当について

ク 第 8 回 平成 24 年 12 月 20 日 於：原町ホーム集会室
・主任・副主任等の配置基準（案）について（最終回）
・非常勤職員の定年制について（再審議）
・「雇止め法理」の法定化について

ケ 第 9 回 平成 25 年 1 月 24 日 於：同援さくら保育園会議室
・保育園の休日勤務手当及び夜勤手当について
・管理職試験活性化のための副施設長等の処遇改善策について

コ 第 10 回 平成 25 年 2 月 25 日 於：原町ホーム集会室

- ・ 保育園の休日勤務手当及び夜勤手当について

サ 第 11 回 平成 25 年 3 月 14 日 於：原町高齢者複合施設「地域交流室」

- ・ 再雇用職員就業規則一部改正について
- ・ 給与規程一部改正について
- ・ 臨時職員就業規則一部改正について

(4) 職員研修委員会

委員： 中島 昭

○東 俊郎 鎌田 弘道 宮本 浩史 折居 千恵子
小堀 和子 栗原 茂夫 魚津 亮太 浅見 文隆
荒井 隆夫 森 浩美

法人職員の研修に関し企画、実施しました。

① 委員会開催状況

ア 第 1 回 平成 24 年 4 月 19 日 於 原町ホーム集会室

- ・ 研修委員会年次計画と担当決定について
- ・ 基礎研修について

イ 第 2 回 平成 24 年 5 月 7 日 於 ひかり苑会議室

- ・ チューター研修について
- ・ 中堅研修について
- ・ 福祉サービス研究発表会プレについて

ウ 第 3 回 平成 24 年 6 月 7 日 於 ひかり苑会議室

- ・ 基礎研修の実施結果
- ・ 上級研修及び副施設長研修について
- ・ 中堅研修について
- ・ プレ発表会について
- ・ ハラスメント研修について

エ 福祉サービス研究発表会プレ 平成 24 年 6 月 22 日 於 ひかり苑

オ 第 4 回 平成 24 年 7 月 6 日 於 原町ホーム集会室

- ・ 福祉サービス研究発表会の役割分担等（ポスター、基調講演、会誌、案内状配布）
- ・ メンタルヘルス研修会について

カ 第 5 回 平成 24 年 9 月 3 日 於 ひかり苑

- ・ 施設長研修について
- ・ 上級研修について
- ・ 新任职員フォローアップ研修について

キ 第 6 回 平成 24 年 9 月 28 日 於 ひかり苑

- ・ 福祉サービス研究発表会について（会場との打合せ、会誌、案内文、講演者謝礼、タイムスケジュール、役割分担、リハーサル）

- ク 第7回 平成24年10月22日 於 ひかり苑
・福祉サービス研究発表会について（リハーサル、役割分担等最終確認）
- ケ 福祉サービス研究発表会リハーサル 平成24年11月16日 中野 ZERO ホール
- コ 福祉サービス研究発表会 平成24年11月30日 中野 ZERO ホール
- サ 第8回 平成24年12月18日
・研修委託先候補プレゼン ・新任職員研修内容確認 ・各グループで実施する研修の講師謝礼の統一について
- シ 第9回 平成25年1月31日 於：むさしの保育園
・25年度研修計画の検討 ・リスクマネジメント研修について
- ス 第10回 平成25年2月22日 於：ひかり苑
・25年度研修計画の検討（施設長研修、課題別研修）
- セ 第11回 平成25年3月18日 於：原町高齢者複合施設「地域交流室」
・25年度施設長研修及び課題別研修の内容確定

② 研修実施状況

平成24年度 法人としての全体研修実施状況報告

実施日	研 修 名	目 的
平成24年 5月11日	基礎研修 （経験年数1～3年） H24.5.11（金） 9：00～17：00 「コミュニケーション技術を身につける。」 ・ビジネスコミュニケーションとは ・コミュニケーションのスタートライン ・「聴く」スキル＝「傾聴力」のポイント ・「訊く」スキル＝「質問力」のポイント ・「話す」スキルのポイント ・「ホウ・レン・ソウ」 参加者 31名 講師 (株)インソース 横田 真由美 氏	・講義、演習等を通して、プライベートでのコミュニケーションとビジネスにおけるコミュニケーションの違いを認識し、ビジネスコミュニケーションに求められるマインドを認識する。 ・言葉によるコミュニケーションだけではなく、第一印象などの、言葉によらないコミュニケーションまでを含めた包括的なコミュニケーションスキルを習得する。

5月16日	施設長会2部研修 （施設長） H24.5.16（水） 15：00～17：00 「3.11 東日本大震災に学ぶ震災時における社会福祉施設の対応について」 参加者 70名 講師 危機管理勉強会齋藤塾塾長 齋藤 實 氏	・震災等大災害の発生を想定し、被害を最小限度に留める準備とともに、事業の継続、再開を迅速に行う必要があり、その対応について学ぶ。
5月24日	課題別研修「チューター研修」 （新任職員の育成担当者） H24.5.24（木）9：30～17：00 「OJTとは何か」 「OJTの進め方」 参加者 31名 講師 ㈱インソース 望月 晴子 氏	・チューターとしてOJTの意義を理解し、OJTによる育成計画の策定方法を学ぶ。 ・「3ヶ月間の育成計画」を実際に立て、OJTに役立てる。 ・仕事の仕方・ほめ方・叱り方等、具体的な進め方を習得する。
6月6日	施設長会2部研修 （施設長） H24.6.6（水）15：00～17：30 「コア人材育成について」 参加者 29名 講師 日本女子大学教授 久田 則夫 氏	・常に課題となっている人材育成について、特に今回はコア人材にスポットをあて、管理職としてどのような取り組み方をしていったら、より法人組織、また各職場の活性化につながる人材となりえるのかを学ぶ。

6 月 12 日	中堅職員研修（経験年数 5 年程度） H24.6.12（火） 9：30～17：00 「自己理解を深め、対人関係能力向上の啓発ポイントを見出す」 ・ 中堅職員に求められる役割 ・ フォロワーとしての基本 ・ フォロワーとしてのリーダーシップ力 ・ 仕事の管理 ・ リスク管理 参加者 30 名 講師 (株)インソース 青木 理子 氏	・ 管理者を補佐する中堅職員に求められるスキル、コミュニケーションスキル・仕事の管理力・リスクマネジメントの 3 つの視点から強化することで、中堅職員のレベルアップを目指す。
7 月 19 日	ハラスメント研修（主任・副主任等現場リーダー） H24.7.19（木） 14：00～17：00 「パワーハラスメントの現状と職場での予防、対処について」 ・ パワーハラスメント概要 ・ セルフチェックの実施 ・ パワハラ of 裁判例の紹介 ・ 予防と対処 参加者 34 名 講師 ヒューマン・フロンティア(株) 小山 雅子 氏	・ 職場の問題としてのハラスメント、中でもパワーハラスメントについて理解する。 ・ 社会状況の変化を認知して、予防と対処のポイントを学び、ハラスメントのない職場づくりにつなげる。
9 月 5 日	施設長研修（施設長） H24.9.5（水） 15：00～17：30 「人材育成について」 ・ リーマンショック後の人材育成 ・ 内部資源による人材育成 ・ 必要な人材要素を再認識する	・ 人材育成の課題とは何か。人材育成のためのスキルマップ、育成手段の最適化について学ぶ。

	・育成手段を決める 参加者 27 名 講師 (株)インソース 井東 昌樹 氏	
9 月 6 日	メンタルヘルス研修（主任・副主任・グループリーダー等） H24.9.6（木）14：00～16：00 「ストレス対処と具体的対応」 ・メンタル不調についての理解 ・ストローク、褒めるスキル ・柔軟思考トレーニング 参加者 28 名 講師 ヒューマン・フロンティア(株) 土門 京子 氏	・メンタルヘルスが必要となっている具体的事例に対して現場のリーダーがどのように対応していくべきかを学ぶ。
9 月 14 日	副施設長および管理職候補者研修 H24.9.14（金）9：00～17：30 「管理職に求められるマネジメントとは」 ・管理職の役割と行動基準 ・管理職の業務 ・業務のマネジメント ・カネのマネジメント ・人のマネジメント 参加者 15 名 講師 (株)インソース 野田 泰正 氏	・管理職としての心構えを再認識し、4つのマネジメント項目を習得、PDCA管理の手法を習得する。
9 月 20 日	上級研修（経験年数 10 年程度及び施設の主任・副主任） H24.9.20（木）9：00～17：30 「変革リーダーとしてのあり方」	・急激に変化し続ける環境変化の中、リーダーに求められる役割を多面的に捉え、自己の認識を再認識の

	・変革リーダーとは ・変革を実践するために ・変革（change）とは ・変革リーダーのリーダー力 ・変革リーダーの部下育成 ・日常指導のテクニック 参加者 22 名 講師 (株)インソース 山下 淳一 氏	上、自組織の業務の枠組みの変革を熟考する。 ・変革実現に向けて、変革リーダーとしてのあり方を学ぶ。 ・実践力を身につけ、部下育成に役立てる。
10 月 23 日	新任フォローアップ研修 (平成 24 年度新規採用正規職員) H24.10.23 (火) 9 : 00~17 : 00 「半年間の職場環境を振り返り、現状の自分自身の卸を行なうとともに、改めて次のステップへの目標設定をする。」 参加者 42 名 講師 (株)インソース 村松 由美子 氏	・半年間の職場活動の振り返りを行い、自分が目指すビジネスパーソン像を考える。 ・仕事における P D C A サイクルとコミュニケーションの重要性とその実践方法に重点を置き、自立的な仕事の進め方をも身につける。
11 月 9 日	震災対応 B C P (事業継続計画)作成研修 (各施設の防災委員およびリスクマネジメント担当者等) H24.11.9 (金) 13 : 30~17 : 30 「福祉施設における実践的な B C P 作成に向けて」 参加者 82 名 講師 危機管理勉強会齋藤塾塾長 齋藤 實 氏	・震災に備え、初動 30 分の訓練を実施、見学、検証する。 ・専門家の立会、講評(助言)、B C P の必要性、作成の留意点、3.11 を教訓とする日頃の対策等の講演を通して、減災意識を高め、防災計画に活かす。
11 月 30 日	福祉サービス研究発表会 「個族の時代と福祉サービス」	・「個族の時代と福祉サービス」をテーマに各支援系ご

	(各支援系ごとに研究発表) H24.11.30 (金) 13:00~17:25 ・ 基調講演 ・ 研究発表 寄り添う介護でつながる絆(高齢者支援系) 精神的ケアに向けて(児童・女性支援系) 環境の変化からみられる子どもへの影響 (保育支援系) 障がい者の経済的自立を目指して (障害者支援系) 参加者 244 名 講評および講演 東京家政学院大学現代生活学部人間福祉学科 教授 西口 守 氏	との研究を発表する。 ・ 西口教授の基調講演を拝聴し、現代社会における社会福祉の意味と意義を考える。
11 月 30 日	新規採用内定者研修会 H24.11.30 (金) 13:30~17:00 「福祉サービス研究発表会」 ～個族の時代と福祉サービス～ 参加者 30 名 講師 「現代における社会福祉の意味と意義を考える」 東京家政学院大学教授 西口守氏 各支援系研究発表会担当グループ	・ 同援の福祉サービスの現状に触れ、同援の職員となる意識を高める。 ・ 各支援系の2年間の研究成果を、採用内定者に伝え、同援職員として「地域と協働する新しい福祉サービスの創造」を目指す。

平成 25 年 1 月 20 日	新規採用内定者研修会 H25.1.22（火）10：30～14：30 「同援の福祉サービスの現状や課題・目標を理解する」 参加者 36 名 講師 総務部長 中島 昭 ゆたか苑 介護職員 小原マリアンヌ 小茂根福祉園 生活支援員 片桐 啓太 同援さくら保育園 保育士 石井千鶴子 双葉園 児童指導員 中野加奈子 総務部 金子敦子	・同援職員として「真の福祉の実現」には、同援の基本的な仕組みや実績の正確な理解が必要になることを確認する。 ・今後のスケジュール説明や給与 規程・就業規則等の説明 ・ランチ・ビュッフェ 菅原常務理事、各部長挨拶 職員と新規採用者との交流の場を設ける。
2 月 5 日	課題別研修（クレーム対応研修） （主任・副主任・グループリーダー等、及び、 相談窓口業務担当者） H25.2.5（火）9：00～17：00 「クレーム対応の基本と組織対応」 ・クレームとは ・クレーム対応の4つの基本手順 ・ケース別クレーム対応方法 ・組織としていかにクレームに対応するか 参加者 29 名 講師 (株)インソース 野田 泰正 氏	・クレーム対応の基本手順を理解するとともに、組織としてのクレーム対応力の向上策を習得する。

3 月 7～8 日	新任職員研修(新任採用者及び準ずる者) H25.3.7 (木) 9:00～17:00 ・ 学生と社会人との違い ・ 社会人としての自覚 ・ 社会人の基本ルール ・ コミュニケーションの重要性 ・ 仕事の流れ 参加者 49 名 H25.3.8 (金) 9:00～17:00 ・ ビジネスマナーの基本 ・ 言葉遣いと敬語 ・ 話の「きき方」 ・ 電話対応 ・ 来客対応のマナー ・ 訪問時のマナー 参加者 50 名 講師 (両日とも) (株)インソース 木元 栄子 氏	・ 自立した社会人の心構えや意識を学ぶ。 ・ 仕事の流れ・手順を理解し、仕事の進め方について体感する。今後の自分を想像し、目標設定を行う。 ・ 社会人としてのビジネスマナーの知識や基本動作を体得する。
-----------	---	---

平成 24 年度 グループ別研修実施状況報告

1 グループ名 高齢者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 24 年 7 月 5 日	新任職員研修(採用 1 年未満) 「フレッシュマンフォローアップ研修」 参加者 14 名 講師 原町ホーム 副主任 河野 雄太	・ 利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と理論を学ぶ

10月1日 ～ 12月21日	訪問介護員養成研修 参加者 11名 【講義】 1. 福祉理念とケアサービスの意義 2. サービス提供の基本的視点 3. 高齢者保健福祉の制度とサービス 4. 障がい者（児）福祉の制度とサービス 5. ホームヘルプサービス概論 6. ホームヘルパーの職業倫理 7. 障がい・疾病の理解 8. 高齢者、障がい者（児）等の心理 9. 障がい・疾病の理解 10. 高齢者、障がい者（児）の家族の理解 11. 介護概論 12. 医学の基礎知識 I 13. 住宅・福祉用具に関する知識 14. リハビリテーション医療の基礎知識 15. 相談援助とケア計画の方法 16. 在宅看護の基礎知識 I 17. 介護事例検討 18. 家事援助の方法 【講師】 池田清彦 田代秀之 魚津亮太 福井幾子 荒井隆夫 工藤かおる 佐々木秋代 渡辺達雄 西澤徳子 庄司早苗 川島久子 伊藤千元	・ヘルパー2級資格養成
----------------------	--	-------------

	【演習】 1. レクリエーション体験学習 2. 訪問介護計画の作成と記録・報告の技術 3. 訪問介護計画の作成と記録・報告の技術 4. 共感的理解と基本的態度の形成 5. 基本介護技術Ⅰ～Ⅴ 【講師】 西澤徳子 佐々木秋代 渡辺達雄 河野雄太 橋本孝子 若生悦子 宇佐見幸太 梅原理恵 山脇啓子	
	【実習】 1. 介護実習 2. ホームヘルプサービス同行訪問 3. 在宅サービス提供現場見学	
平成 25 年 1 月 29 日	平穏死のすすめ講演会「看取り介護」 参加者 200 名 講師 医師 石飛 幸三 氏	・ 終末期の介護について施設の垣根を越えた講習会を開催し、地域勉強会を開催。
平成 24 年 10 月 ～ 平成 25 年 3 月	施設間交換研修 参加者 17 名	・ コア人材育成の育成

2 グループ名 障害者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 24 年 6 月 2 日	新任職員研修 3 回連続講座 「基本的ビジネスマナーを身につける」 講師 島田正代 氏 H24.6.2 (土) 9:30~16:00 自己の印象管理をし、基本マナーを学ぶ。 (基本 5 原則 挨拶・身だしなみ・態度・言葉づかい・表情) 参加者 14 名	・障害者グループの若年層の職員の人材育成を行い、安定した人材確保と支援の向上を図る。
9 月 15 日	H24.9.15 (土) 9:30~16:00 電話対応及び訪問・対応の基本動作やマナーの習得。また、コミュニケーションサイクルと交流分析を学ぶ。 参加者 14 名	
12 月 8 日	H24.12.8 (土) 9:30~16:30 クレーム対応と仕事の進め方と報告のしかたを学ぶ 参加者 11 名 のべ参加者数 39 名	
11 月 2 日	障害グループの事業理解と施設見学 H24. 11. 2 (金) 9:00~17:00 各施設を見学し、法人の障害グループの事業を理解するとともに、着任半年の振り返りを行う。 参加者 10 名	・新採用職員が各施設の事業を理解し、法人への帰属意識を育成する。 ・グループ内施設の主催の講演会等に参加し、学びの機会を多くし、支援スキル
6 月 19 ・ 21・26 日	施設内研修の外部参加 施設主催の講座・講演会に他施設職員も参加	

7 月 20 日	し、支援スキルの向上を図る。 6 月(3 回) 介護講座 技術講習会 7 月 「意思決定支援」講演会	の向上を図る。
4 月～毎月 1 回	サービス研究「障害者支援事業所における工賃 を図る」 参加者 8 名 11 月実施のサービス研修会の報告内容のま とめを行う。また、各施設にて研究報告を実 施。	・研究成果を公開し、障害 者支援の理解を図る。 ・サービス研究会発表
平成 25 年 3 月 1 日	全体職員研修 H25.3.1 (金) 18:00～20:30 「障害者虐待防止法について」 参加者 105 名 講師 弁護士 関哉 直人 氏	・制度を理解し、支援に反 映させる。

3 グループ名 保育支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 24 年 4 月 14 日	H24.4.14 (土) 10:00～12:10 (保育園職員) 講演 「保育園現場のリスクマネジメントを学ぶ」 参加者 115 名 講師 (株)アイギス 代表取締役 脇 貴志 氏	・事故が起きる前に事故の要因 を取り除き事故の発生率を下 げられるようにする。 ・安全をつくるために、必要な 「目的・根拠・成果」を意識し て実践できるようにする。

5 月 15 日	H24.5.15（火）13：30～16：00 （保育園中堅職員） 「中堅職員の役割と仕事に対する意識と自覚について」1 回目 参加者 15 名 講師 (株)アイギス 代表取締役 脇 貴志 氏	・中堅職員としての役割や心構えを学び、中堅職員としての自覚を持ちより、良い組織の構築を考える。
7 月 7 日	H24.7.7（土）13：30～16：30 （保育園職員） 「柳澤運動プログラム支援における今後の課題と展望について」 参加者 115 名 講師 松本短期大学 教授 柳澤 秋孝 氏	・運動が脳と心に良い刺激を与え「社会性」と密接な関係にある。子ども達が意欲的に前向きに取り組めるようどのように支援したらよいかを学ぶ。
11 月 5 日	H24.11.5（月）13：30～16：30 （保育園中堅職員） 「中堅職員の役割と仕事に対する意識と自覚について」2 回目 参加者 22 名 講師 (株)アイギス 代表取締役 脇 貴志 氏	・中堅職員の担う役割は組織にとって重要であり、自らが中心となり改善する意識と自覚について再認識する。

4 グループ名 児童・女性支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 25 年 2 月 22 日	H25.2.22（金） 「記録の取り方検討会」 参加者 11 名 アドバイザー 田園調布学園大学人間福祉学部 社会福祉学科教授 村井 祐一 氏	・ ケース記録等、記録の取り方を検討し、職員が同じ認識で統一した記録が取れるようにする。 ・ 継続して行う。
平成 24 年 7 月 18 日	H24.7.18（水） 「接遇マナー研修」 「生きた接遇マナー」 参加者 10 名 講師 宮田 恵 氏（消費生活アドバイザー）	・ グループの特殊性を踏まえて職員の育成及び学びとする。
10 月 12 日	H24.10.12（金） 「メンタルヘルスケア研修」 参加者 15 名 講師 あさくさばしファミリーカウンセリン グループ 室長 野口 洋一 氏	
平成 25 年 3 月 13 日	H25.3.13（水） 「ハラスメント研修」 参加者 13 名 講師 鈴木 ふみ 氏（弁護士）	
平成 24 年 7 月 ～ 平成 25 年 3 月	「グループ内施設交流研修」（3 日間） 「グループ外施設交流研修」 (障害者支援系他)	・ 他業種、他施設での研修を通して連携を必要とされている三業種の理解を深めると共に、職員の視野を広げ資質向上を図る。

(5) 広報委員会

委 員 中島 昭総務部長

○岡本 勝巳 石川 宜子 山下 弘子 高橋 百合子 田代 秀之
工藤 かおる 飯島 一憲 池田 清彦 阿部 英子
長谷部 重行 (清水 恵子)

「同援だより・同援通信」の発行、ホームページの更新等、本法人の広報活動に関し
企画実施しました。

ア 第1回 平成24年4月27日(金) 於：原町ホーム集会室

- ・同援だより、同援通信、同援史等活動計画について
- ・各担当について

イ 第2回 平成24年5月29日(火) 於：事業局

- ・同援だより盛夏号(169号)第1回校正

ウ 第3回 平成24年6月6日(水) 於：事業局

- ・同援だより盛夏号(169号)第2回校正

エ 第4回 平成24年6月11日(月) 於：昭和郷事務センター

- ・同援史に係る資料整理

オ 第5回 平成24年10月30日(火) 於：事業局

- ・同援だより新春号(170号)について

カ 第6回～8回 平成24年12月 3日(月)

平成24年12月10日(月)

平成24年12月19日(水) 於：各事業局

- ・同援だより新春号(170号)校正

・同援通信委員会

委 員 ○岡本 勝巳 工藤 かおる 飯島 一憲 田代 秀之 長谷部重行
通信担当職員 濱野亜希子 小原マリアヌ 小池香

ア 第1回 平成24年5月18日（金）於：事業局
・同援通信13号校正

イ 第2回 平成24年7月12日（木）於：事業局
・同援通信14、15号について

ウ 第3回 平成24年11月5日（月）於：事業局
・同援通信14号校正

エ 第4、5回 平成25年3月11日（月）
3月22日（金）於：事業局
・同援通信15号校正

※その他随時校正作業 於：事業局

（6）リスクマネジメント委員会

委員：○金田 幸雄 山川 浩一 長者 政孝 石井 好子
神田 祐一 池田 康子 三口 信次

引き続き震災対策について検討、大地震発生後30分行動計画の策定、実地訓練を実施しました。

ア 第1回 平成24年4月17日（火） 於：昭島病院 2階会議室
本年度活動主旨説明 災害想定、BCP、減災の範囲検討

イ BCP研修 平成24年5月16日（水） 施設長対象

ウ 第2回 平成24年5月24日（水） 於：双葉園
災害対策のスコープ設定検討

エ 第3回 平成24年6月26日（火） 於：双葉園
震災時の本部機能について

オ 第4回 平成24年7月20日（金） 於：さくらんぼ
減災チェックリストについて

カ 第5回 平成24年8月3日（金） 於：さくらんぼ
30分行動計画について

キ 第6回 平成24年9月7日（金） 於：双葉園

訓練実施について

ク 第 7 回 平成 24 年 10 月 12 日（金） 於:双葉園

モデル訓練について

ケ 訓練実施 平成 24 年 11 月 9 日（金） 於:フジホーム

30 分行動計画実地訓練 全施設防災担当者参加

コ 第 8 回 平成 24 年 12 月 11 日（金） 於:原町ホーム

フジホーム訓練 日常の備え一覧作成について

サ 第 9 回 平成 25 年 3 月 18 日（月） 於:原町複合施設 地域交流室

各施設、今後の取組強化について

（7）人事考課評価委員会

委 員：○菅原 眞廣 中島 昭

神田 祐一 水谷 貞子 木村 美子 南山 徳英

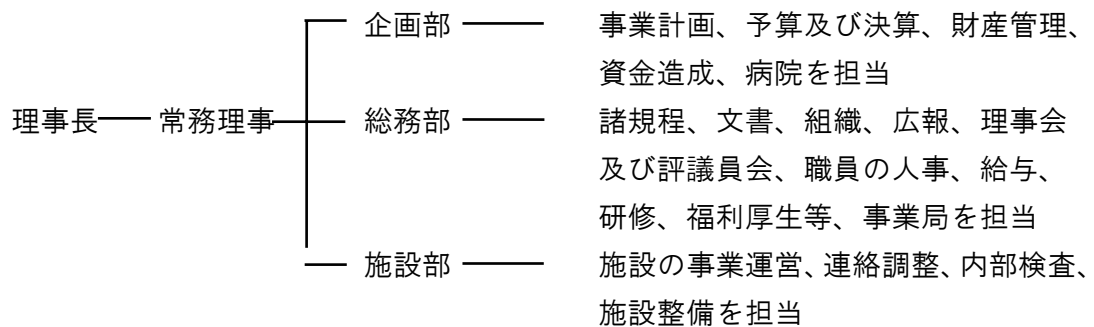
職員人事考課規程第 9 条に基づく職員からの異議がなかったので、開催してありません。

※ ○印は委員長

六 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図るため、企画部・総務部・施設部の三部制により業務を行いました。

1 組織



2 事業計画・予算等の総括

平成 23 年度事業報告、決算等の原案、平成 24 年度事業計画、予算及び補正予算の原案等を取りまとめ、評議員会及び理事会に提案し、承認を得ました。

3 指導検査・法人内部検査

ア 東京都による指導検査

東京都による施設の適正運営のための指導検査は、下記により行われました。

双葉園	10月9日	ゆたか苑	10月17日
ひかり苑	10月18日	万世敬老園	10月19日
昭島荘	10月30日	いこいの家	2月15日
法人	2月15日		

イ 厚生労働省による実地検査

厚生労働省老健局による施設の検査が東京都と合同で下記のとおり行われましたが、特に検討を要する事項はありませんでした。

ゆたか苑 10月17日

ウ 法人内部検査

経理規程及び内部検査実施要綱に基づき、事務局職員による内部検査を下記のとおり実施しました。検査員からの指摘事項は速やかに改善しました。

大 山 保 育 園	6 月 14 日	む さ し の 保 育 園	6 月 21 日
つつじが丘保育園	6 月 26 日	み な と 保 育 園	7 月 5 日
万 世 敬 老 園	7 月 10 日	児童センターぱれっと	7 月 12 日
ひ か り 苑	7 月 17 日	ゆ た か 苑	7 月 19 日
昭 島 荘	7 月 24 日	い こ い の 家	8 月 2 日
同援みどり保育園	9 月 11 日	同援さくら保育園	9 月 13 日
サンライズ武蔵野	9 月 18 日	昭和郷第二保育園	9 月 20 日
ラ イ ト ホ ー ム	9 月 25 日	双 葉 園	9 月 27 日
ニューフジホーム・かえで	10 月 9 日	サンライズ青山	10 月 11 日
東村山生活実習所	10 月 16 日	昭 和 郷 保 育 園	10 月 18 日
フ ジ ホ ー ム	10 月 25 日	サンライズ万世	11 月 13 日
さ や ま 園	11 月 15 日	小 茂 根 福 祉 園	11 月 20 日
さいわい福祉センター	11 月 22 日	さ く ら ん ぼ	11 月 27 日
立川福祉作業所	11 月 29 日	原 町 ホ ー ム	12 月 6 日
サ ン ホ ー ム	12 月 11 日	事 業 局	12 月 13 日
昭 島 病 院	12 月 18 日		

エ 監事監査

監事による監査は、法人事務局並びに昭島病院・事業局について月 1 回定期的に監査が行われ、施設についても下記のとおり実施されました。

指摘を受ける事項は認められませんでした。助言等を運営改善に活かしました。

なお、5 月 17 日に定款第 26 条の定めにより法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査が行われ、監査の結果は適正であると認められました。

利用者預り金関係 5 月 29 日

い こ い の 家	万 世 敬 老 園	フ ジ ホ ー ム
ニューフジホーム	原 町 ホ ー ム	ゆ た か 苑
ひ か り 苑	昭 島 荘	さ や ま 園
さ く ら ん ぼ	アミニティ富士見	レヂオンス巣鴨

施設運営関係

児童センターぱれっと	7 月 12 日	昭 島 荘	7 月 24 日
同援みどり保育園	9 月 11 日	ラ イ ト ホ ー ム	9 月 25 日
ニューフジホーム・かえで	10 月 9 日	さ く ら ん ぼ	11 月 27 日